



Serving Element (サービング エレメント)

テーブルタイプ

MKSC1 - 1010/1809/1509/0909J*(95・90・85・75)

テーブルタイプ I H組込対応

MKSC1 - 1809/1509J*(95・90・85・75)G

テーブル L タイプ

MKSC2 - 1515D10/1515D09J*(95・90・85・75)

Dining Block (ダイニング ブロック)

テーブルタイプ

MKIC47/67/87 - (90・120・150・180)

MKIC17/77/87 - (124・184・199)

カウンタータイプ

MKIC11/12/15/71/72/75/8182/85 - (124・184・199)

MIKC41/42/45/61/62/65/81/82/85 -

(90・120・150・180)

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

■取扱説明書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意	1 ~ 2
・各部の名称	2 ~ 3
・耐荷重	4
・ご使用に際して	5 ~ 6
・お手入れ方法	6 ~ 7
・ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取扱いについて／アフターサービスについて／ ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	8

取付・設置説明書

・安全上のご注意	9 ~ 10
・取付・設置前の確認／取付・設置上のご注意	10
・組立手順	11 ~ 15
・取付・設置手順	16 ~ 32
・製品寸法図	33 ~ 38
・取付・設置後の点検・清掃	裏表紙

取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
------	--

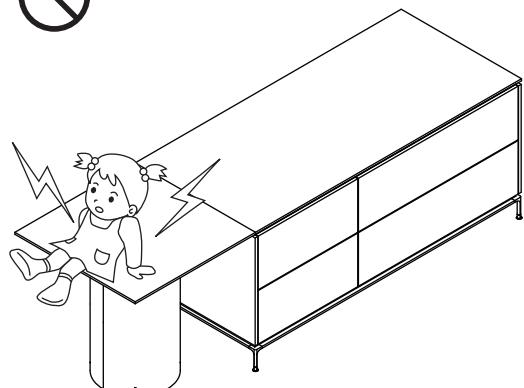
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 注意

天板に乗ったり、体重をかけたりしないでください。

特に、脚の支えがない天板の端（角を含む）に、体重をかけたり重い物を載せたりしないでください。



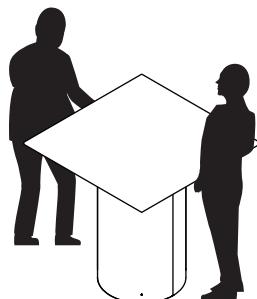
テーブルが変形したり壊れて、ケガをする恐れがあります。

金属部のお手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



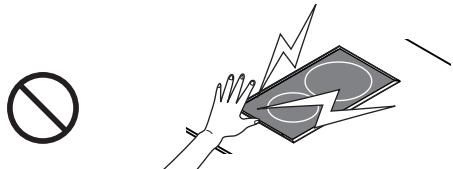
鋼板の切り口や角で、手を切る恐れがあります。

テーブルやカウンターを移動させる場合は、ひきずらないようにテーブルやカウンターを持ち上げてください。



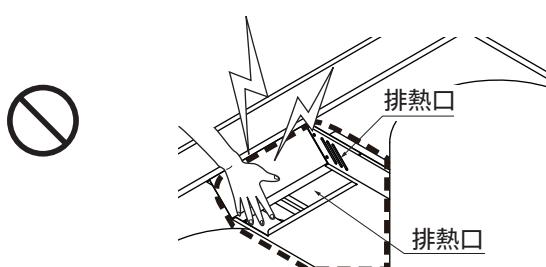
床を傷つけたり、テーブルやカウンターが壊れる恐れがあります。

調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺に触れないでください。



放射する熱等で熱くなり、やけどの恐れがあります。

調理機器の使用中や使用直後は、IHカバーに触れたり、側面および下部の排熱口へ手を入れたりしないでください。



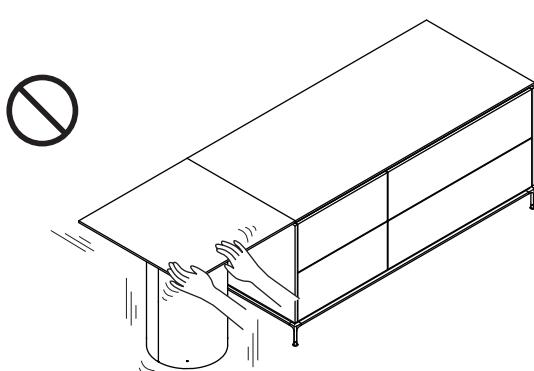
排熱等で熱くなり、やけどの恐れがあります。

テーブルLタイプの棚板には、指定の荷重以上載せないでください。



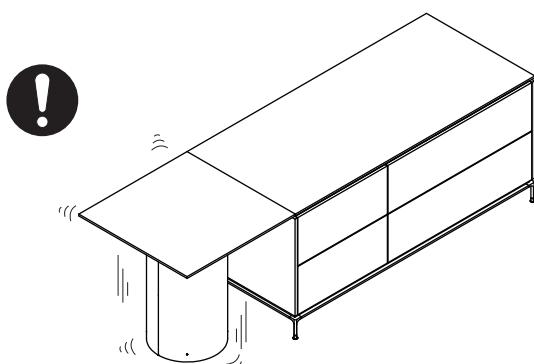
載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

縦方向・横方向に無理な力を加えないでください。



接続部分がゆるんだり変形したり、テーブルが変形したり壊れたり、脚部がガタついてケガをする恐れがあります。

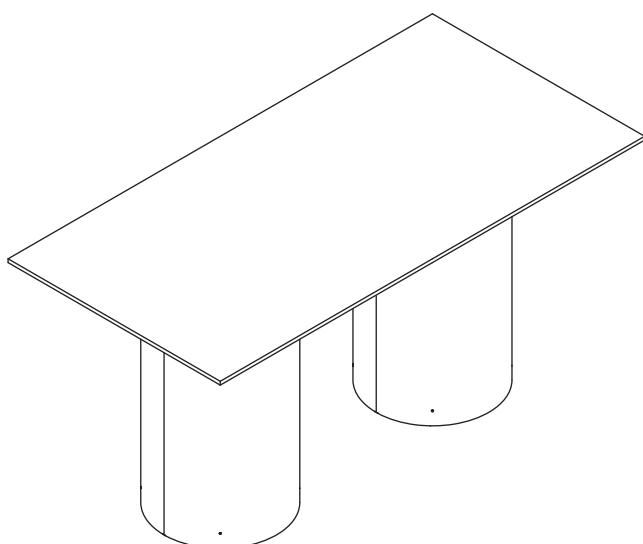
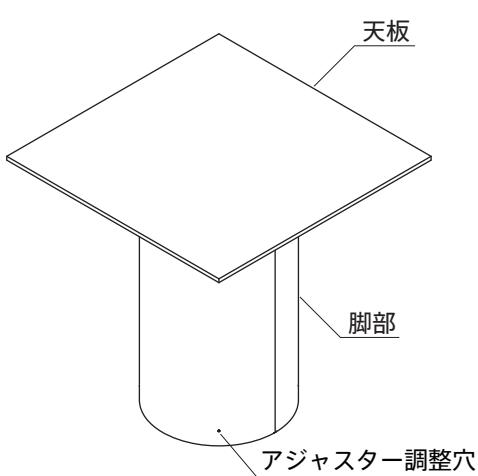
取付・設置完了後は、天板の傾きやガタつきが無いことを確認してください。



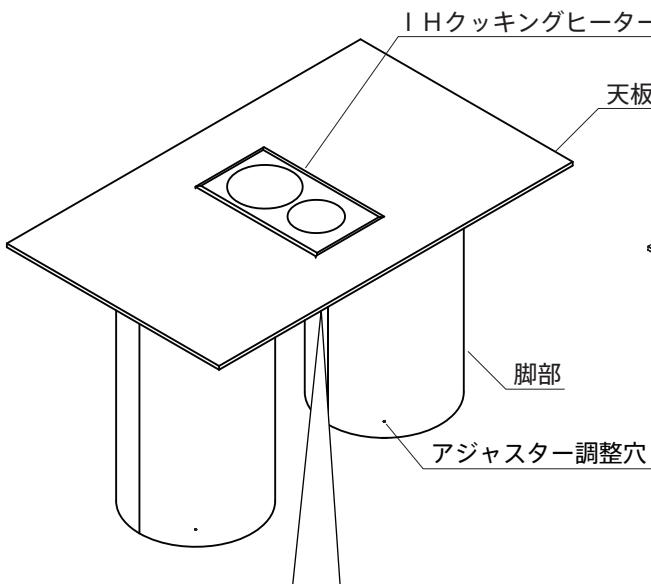
載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

各部の名称

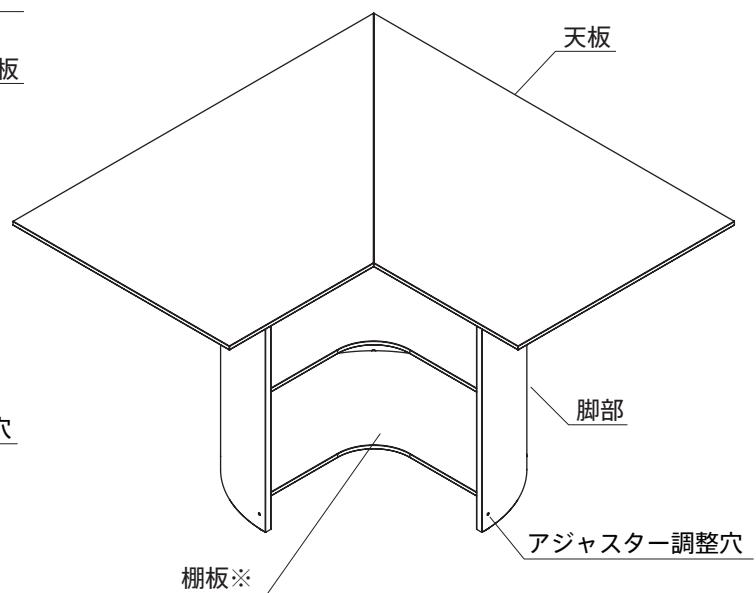
■サービングエレメントテーブルタイプ



■サービングエレメント
テーブルタイプ IH組込対応

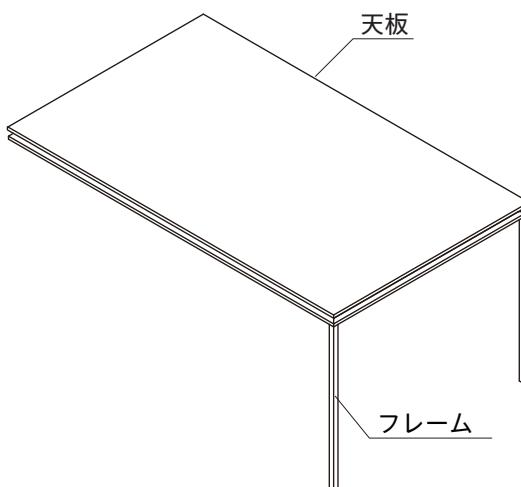


■サービングエレメント
テーブルレタイプ

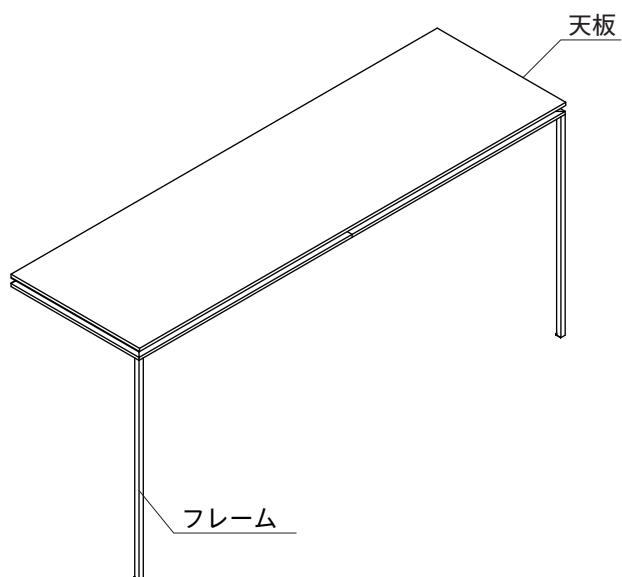


※サービングエレメントテーブルレタイプ
の棚板は脚部に固定されています。

■ダイニングブロックテーブルタイプ (H720)



■ダイニングブロックカウンタータイプ
(H950/H900/H850)



耐荷重

テーブルLタイプ 棚板 20kg／枚

※5kg…直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。
※耐荷重は、均等に物を載せた場合を示します。

※指定の荷重以上載せたり、片寄って載せたりすると、棚板が破損したり、載せて
いる物が落ちてケガをする恐れがあります。

ご使用に際して

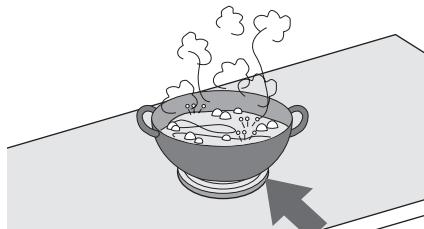
シンナー・ベンジン・ワックス・化学雑巾等は、使用しないでください。

天板や脚部カバーの表面の光沢が変わったり、無くなったり、変色する場合があります。



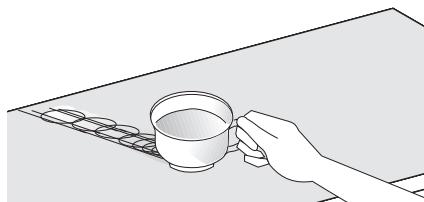
高温になっている鍋やヤカン等を直接天板の上に置かないでください。

沸騰したヤカン、熱い油の入った鍋を置く際は、天板保護のため、鍋敷きを使用してください。



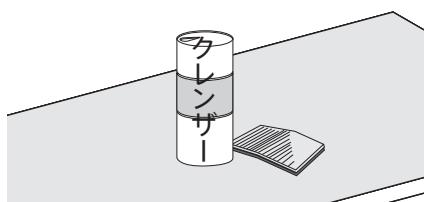
擦り傷にご注意ください。

食器や調理道具等を引きずることにより、天板に小さな傷が付くことがあります。



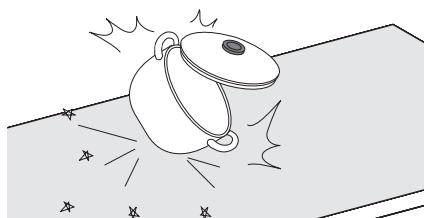
粒子の粗いクレンザーやタワシ・金属タワシ・ナイロンタワシは、使用しないでください。

天板や脚部カバーに小さな傷が付くことがあります。



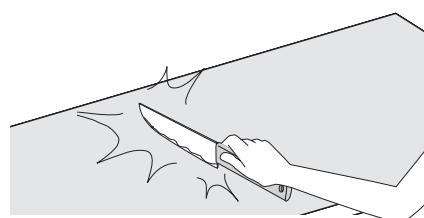
強い衝撃は避けてください。

表面が傷ついたり、変形したり、ガタつく恐れがあります。



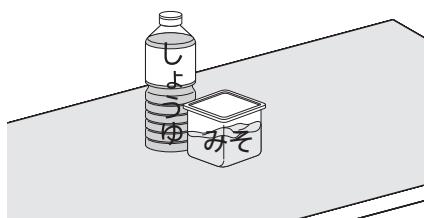
直接包丁を使わないでください。

ナイフや包丁等、鋭利なものを当てるとき傷が付きますので、ご注意ください。



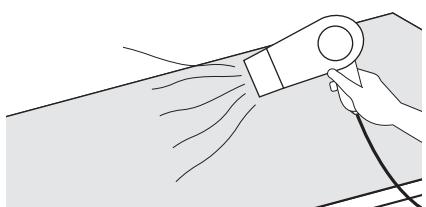
梅干し・漬け物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。

汚れをすぐに拭き取らない場合、色が付いて変色することがあります。



天板に、ドライヤー等の熱風を直接当てたり、温風ヒーター やストーブ等の熱が直接当たる場所に置かないでください。

熱によって変形したり、変色する場合があります。



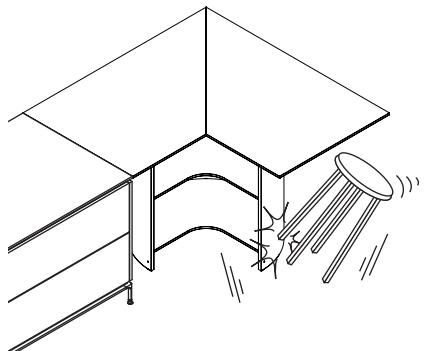
薬品や毛染め剤、強酸または強アルカリ性洗剤・漂白剤が付いた場合は、すぐに拭き取ってください。

表面が変色したりする場合があります。



脚部の擦り傷にご注意ください。

鏡面のステンレスは、擦り傷が目立ちやすいことがあります。



お手入れ方法

汚れは放置すると落ちにくくなりますので、ご使用のたびにお手入れを行ってください。
お手入れには、柔らかい布をご使用ください。

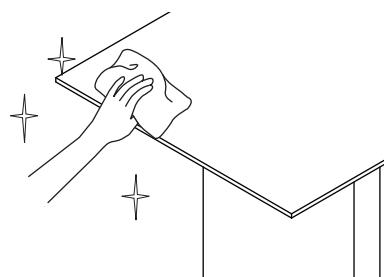
タワシやスポンジの裏についているスコッチブライト等は使用しないでください。

表面に傷が付きます。

■天板・棚板

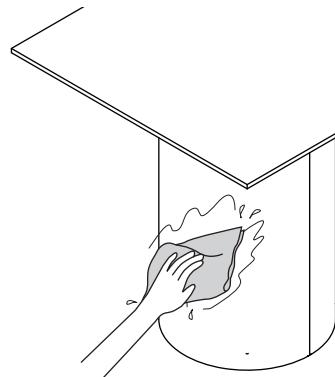
・通常のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。

※汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ柔らかい布で拭き取った後、乾いた柔らかい布でから拭いてください。



■脚部（脚部カバー）

※ご使用始めは、製品表面の黒ずみが付くことがあります、お手入れを繰り返すとなくなります。



【日常のお手入れ】

1. 水を含ませた柔らかい布で汚れを落とします。
2. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

※キルト（脚部のカバー）は専用のワイピングクロスの使用を推奨します。（別売り）



【油汚れ】

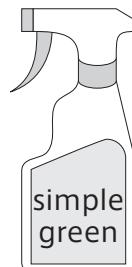
1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に台所用中性洗剤をつけて汚れを落とします。
2. 水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

メンテナンス用品（オプション）

○シンプルグリーン（洗剤）

- ・通常のお手入れには30倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ・油汚れがひどい場合は、水で5倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、2~3分待ちます。
スポンジ等で汚れをこすり落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

※希釈率が濃すぎると、表面に洗剤成分が残り、白っぽくなることがあります。

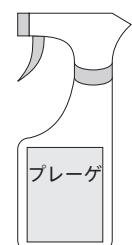


○プレーゲ（ステンレスチタン製品用コーティング剤）

1. プレーゲを塗布する前に水や中性洗剤等を使用して、表面に付着している汚れを落とします。
2. プレーゲを塗布します。
(スプレー1回（約1cc）につき1平方メートルを目安)
3. 乾いた柔らかい布で車のワックスを塗り込むように円を描きながら、プレーゲを十分に塗り込みます。
4. 再度乾いた柔らかい布で、白いモヤモヤが無くなるまでから拭きします。

※ プレーゲを塗布しすぎると、白いモヤモヤが取れにくくなります。

※ プレーゲを使用する前に「シンプルグリーン」で脂汚れを落とすと、より一層効果が得られます。



○ワイピングクロス

- ・日常のお手入れに、カラ拭きまたはきつく絞った水拭きで汚れを拭き取ります。



ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所等の個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認等に利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトヨーキッチンメンテナンスにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

- ・ご氏名
- ・ご住所
- ・お電話番号
- ・お買い上げ日
- ・異常の内容
- ・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。
ただし、本品質保証はご家庭で使用した場合にのみ適用します。

商品名

サービングエレメントテーブルタイプ／テーブルタイプIH組込対応／
テーブルレタイプ

ホルムアルデヒド発散区分

内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆

表示ルール

「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能

4 VOC基準適合（木質建材）

表示ルール

「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

取付・設置説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
---	---------------------------------------

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■この「取扱説明書、取付・設置説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

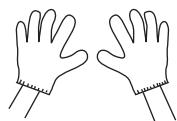


組立ては、組立方法の説明に従い、正しく行ってください。



組立方法を誤ると、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。

金属製の製品を取扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、手を切る恐れがあります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

組立及び取付・設置完了後は、テーブルやカウンターの傾き・ガタつき・固定ネジのゆるみが無いことを必ず確認してください。



思わぬ事故の原因となる恐れがあります。

組み込まれる電気機器については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

取付・設置前の確認

- 1 注文した製品が納入されているか確認してください。
 - 2 配線、補強棟の確認
 - ・取付・設置図および指示通りに、各機器の電気配線などが施工されているか確認してください。
 - ・床の水平レベルや強度を確認してください。
- ※ 脚部の養生は引渡し時まで剥がさないようにしてください。

取付・設置上のご注意

組立てを始める前に、床等が傷つかないように柔らかい布等を製品の下に敷いて養生をしてください。

組立手順 (サービングエレメントテーブルタイプ) 1

1. 天板と脚部の連結

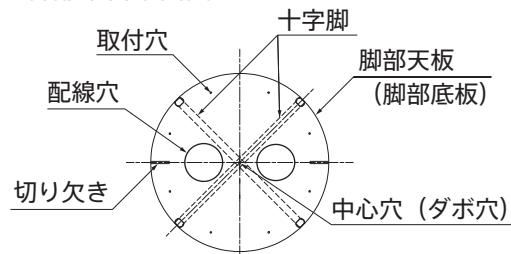
- ・サービングエレメントテーブルタイプは、裏返した天板を床に置いて、脚部を載せて組立てます。
- ・天板裏面の中心穴（ダボ穴）に打ち込んだダボφ 6×30 に、脚部天板の中心穴（ダボ穴）を合わせて脚部木台（十字脚）を載せ、脚部天板裏面から叩いてダボを脚部天板の中心穴（ダボ穴）にはめ込みます。
- ・はめ込んだダボを中心に脚部木台（十字脚）を回転させながら調整して、天板と脚部天板の取付穴位置を揃えます。

2. 天板と脚部の固定

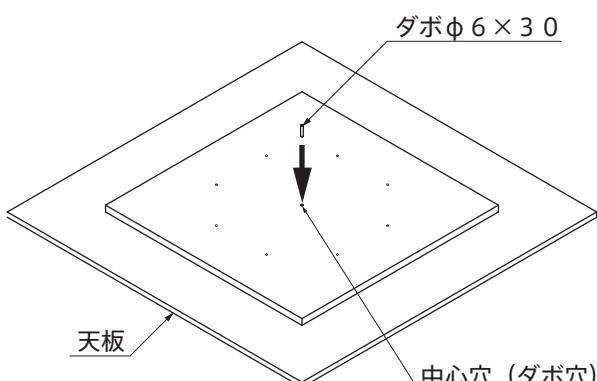
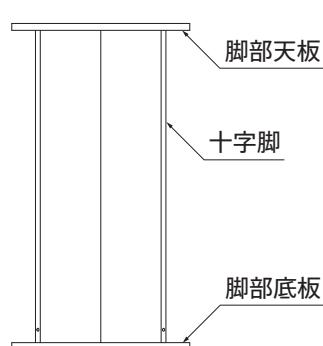
- ・脚部天板裏面の取付穴より⊕ナゲシネジ 3.8×38 にワッシャーを通して天板と脚部を固定します。
(8ヶ所)

※全てのネジにゆるみが無いようしっかり固定してください。

■脚部木台平面図

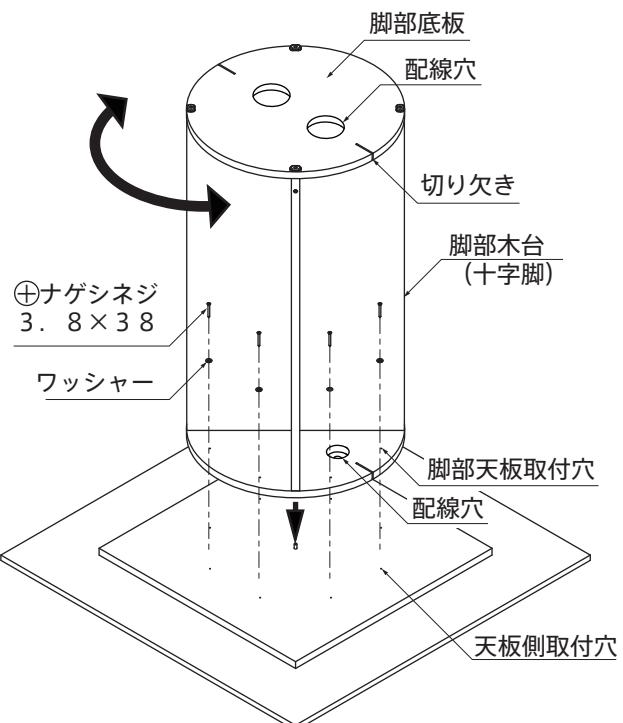
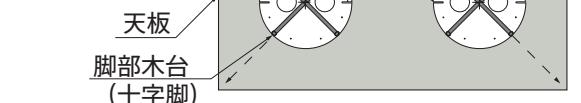
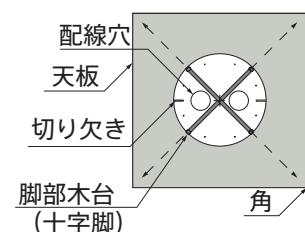


■脚部木台側面図



■脚部(十字脚)取付位置平面図

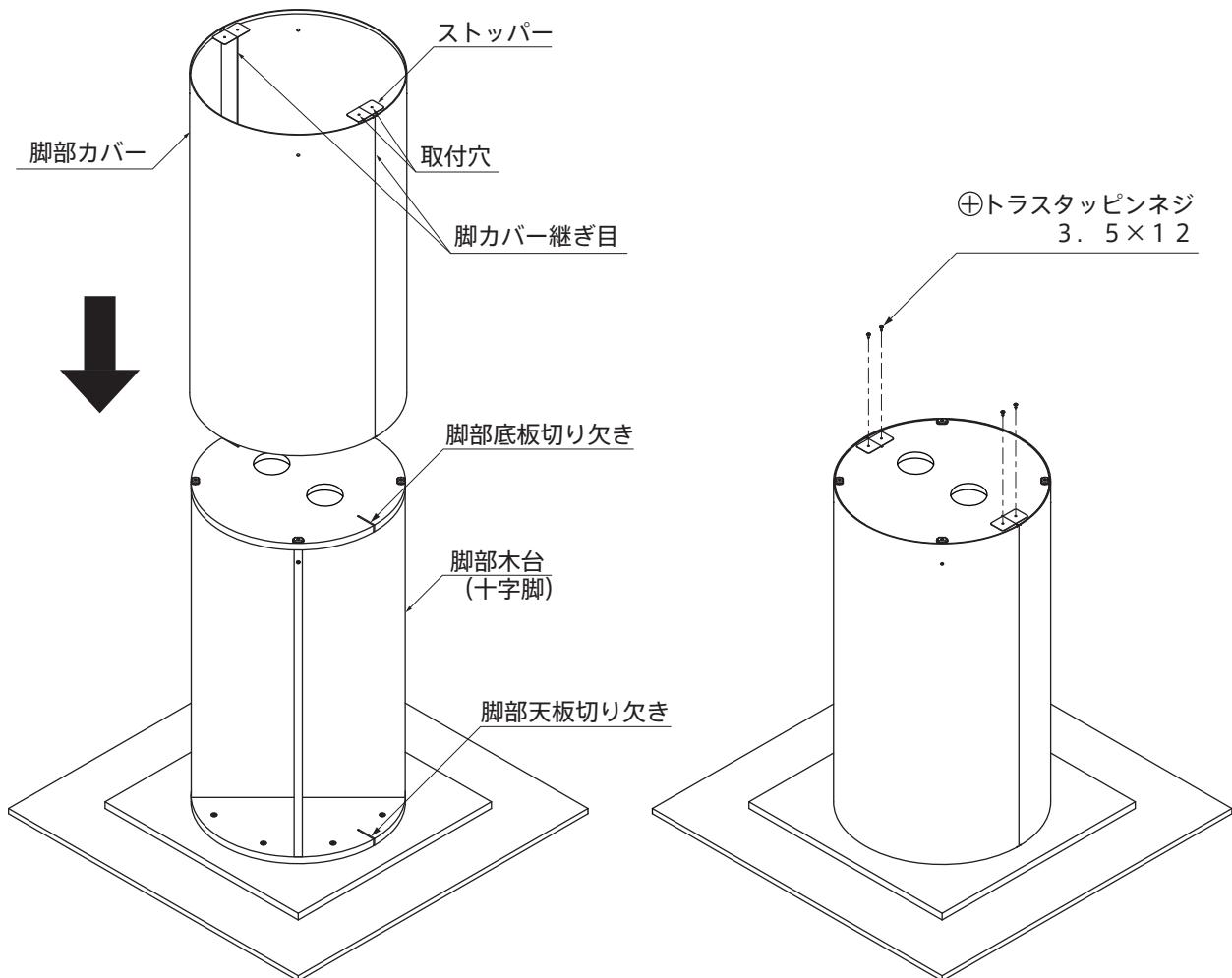
※脚部木台（十字脚）は、天板面に対して十字脚が角を向くように取付けます。
※脚部が2本ある場合は、切り欠きの並びを長手方向に合わせます。



組立手順（サービングエレメントテーブルタイプ）2

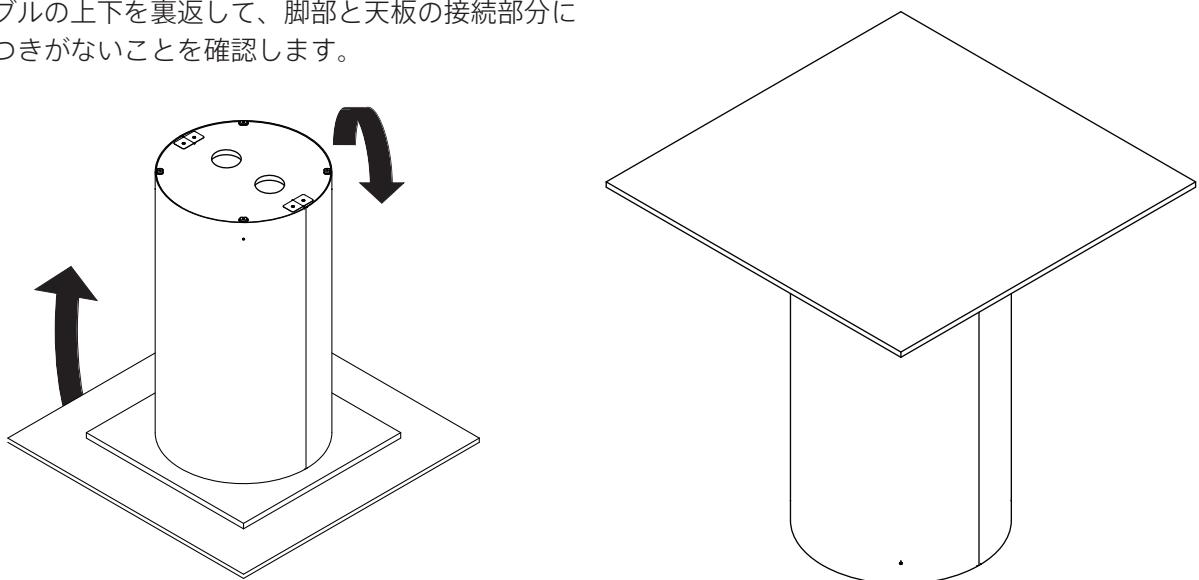
3. 脚部カバーの取付け

- ・ストッパー側を上にして、脚部カバーの繋ぎ目を脚部天板と底板の切り欠き部分に差し込みながら、脚部木台（十字脚）に脚部カバーを被せます。
- ・ストッパー取付穴より、 \oplus トラスタッピングネジ 3. 5 × 1 2 にて脚部カバーを脚部底板に固定します。



4. テーブルの裏返し

- ・テーブルの上下を裏返して、脚部と天板の接続部分にガタつきがないことを確認します。



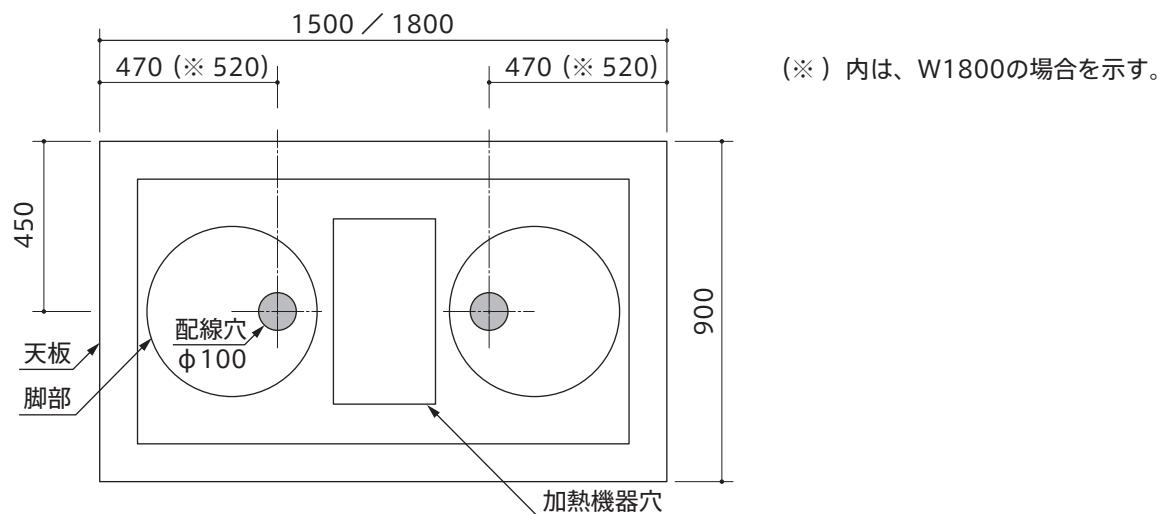
組立手順 (サービングエレメントテーブルタイプIH組込対応) 1

1～2. 【テーブルタイプ】の手順1～2を参照して天板と脚部を固定します。

3. 床配線の取り出し

- ・サービングエレメントIH組込対応の設置位置で、脚部配線穴位置下の床面にΦ32以下の床配線穴を開け、配線コード（単相200V-20A用）を1本、3m程度取り出します。（※脚部配線穴位置参照）
※脚部の配線穴は天板の中心に近い側のいずれかを使用します。

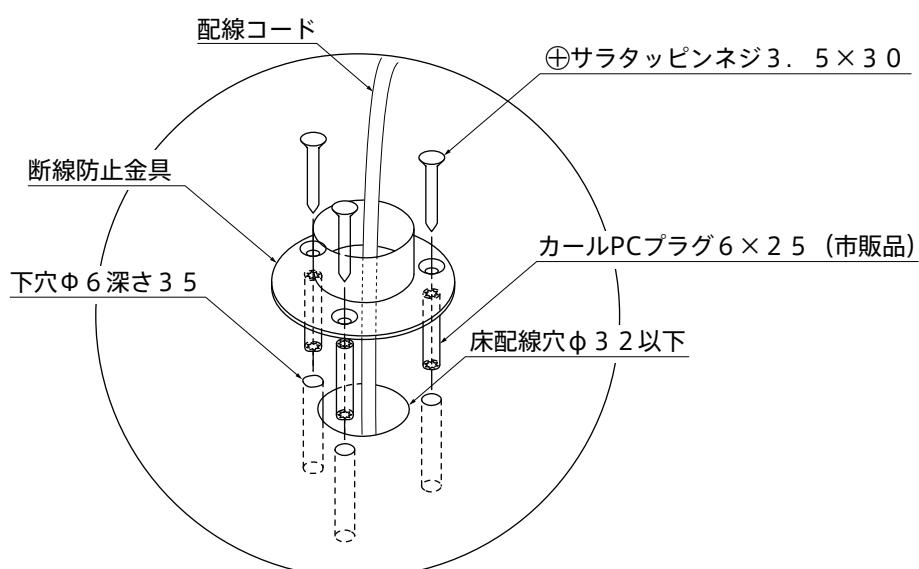
■脚部配線穴位置



(※) 内は、W1800の場合を示す。

4. 断線防止金具の固定

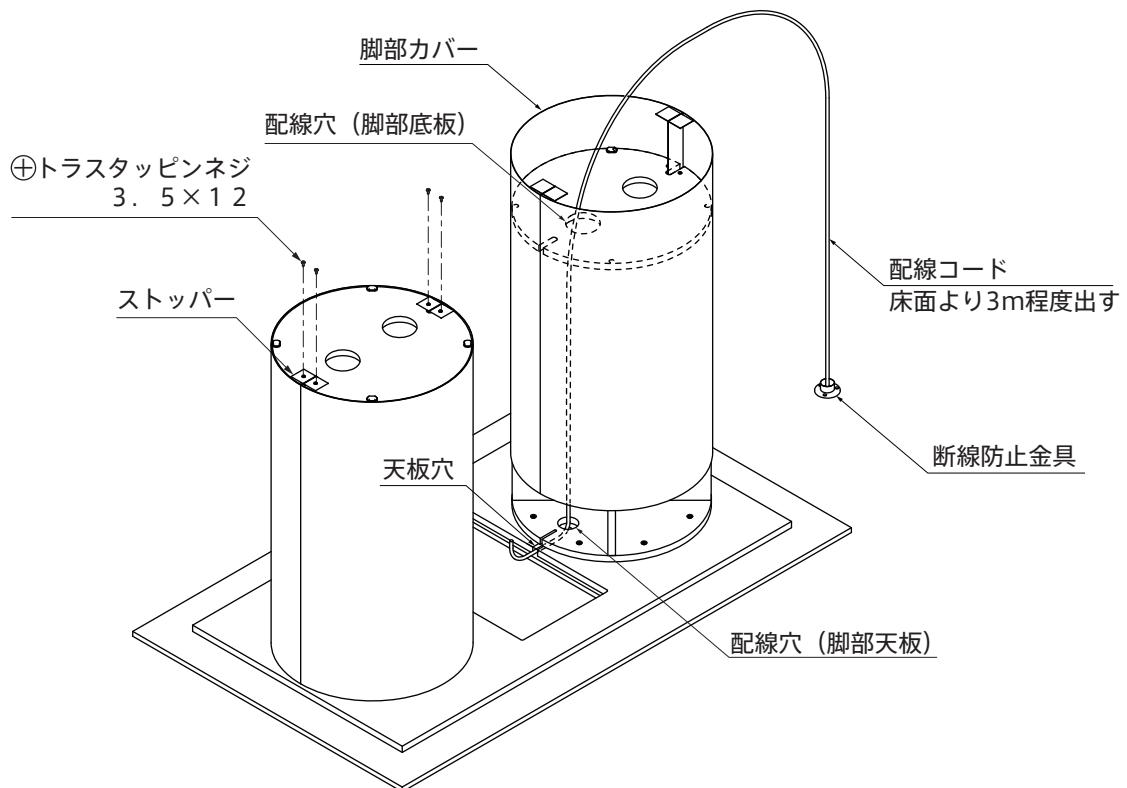
- ・配線コードを通した断線防止金具を床配線穴に合わせて床面に当て、印を付けます。
※コンクリート床、石床の場合、断線防止金具の取付位置に固定用穴Φ6深さ35mmの下穴をあけ、下穴にカールPCプラグ6×25（市販品）を打ち込みます。
- ・床面に断線防止金具を④サラタッピンネジ3.5×30で固定します。



組立手順 (サービスングエレメントテーブルタイプ I H組込対応) 2

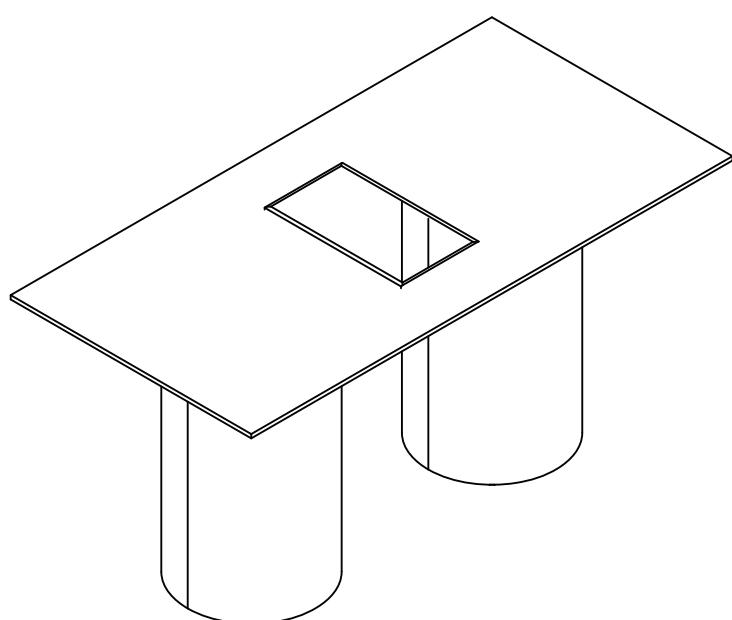
5. 脚部カバーの取付け

- ・配線を通さない脚は、テーブルタイプの組立手順3を参照して脚部カバーを取り付けます。
- ・配線を通す脚部側の脚部カバーに、ストッパー側から配線コードを通しておきます。
- ・配線コードを、脚部底板配線穴から脚部天板配線穴に通して、天板穴から取出します。
※天板穴から出した配線コードは、天板裏にテープで仮止めする等、抜けないように注意してください。
- ・配線コードを通した後に、同様に脚部カバーを取り付けます。



6. テーブルの裏返し

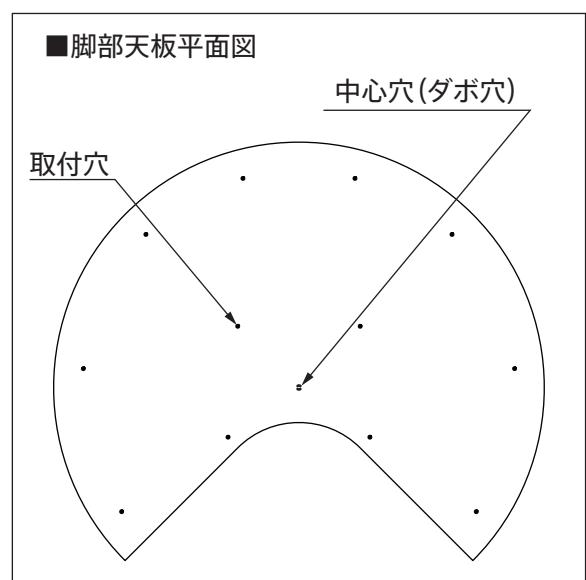
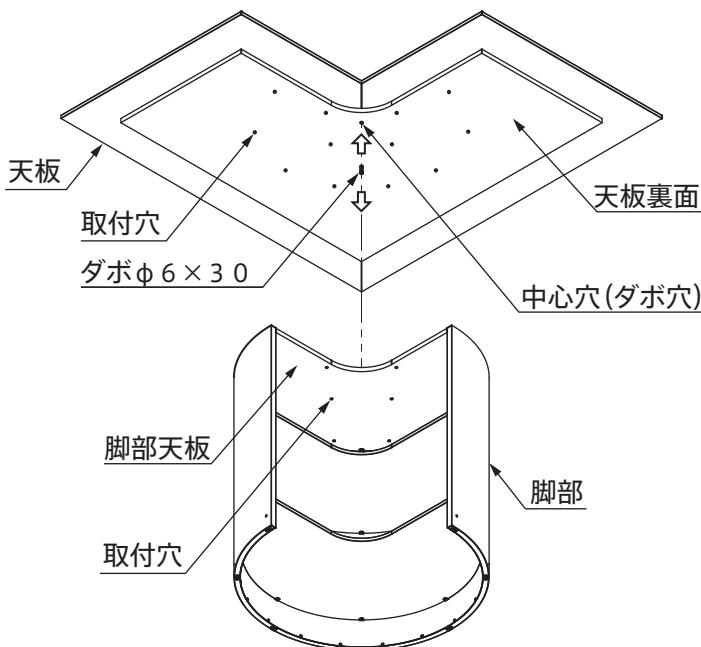
- ・配線コードに注意しながら、配線を通した脚部が床配線穴の上にくるように、テーブルの上下を裏返して置いて、天板と脚部の接続部分にガタつきがないことを確認します。



組立手順 (サービングエレメントテーブルLタイプ)

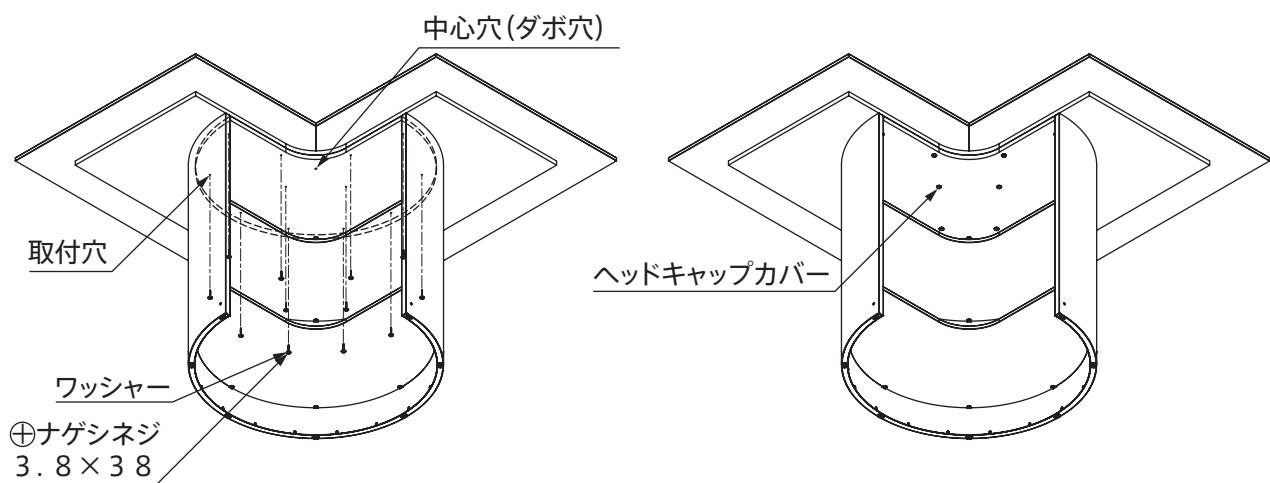
1. 天板と脚部の連結

- ・サービングエレメントテーブルLタイプは、床に立てた脚部に天板を載せて組立てます。
- ・天板裏面の中心穴（ダボ穴）にダボφ 6×30を打ち込みます。
- ・脚部天板中心穴（ダボ穴）に天板裏面に打ち込んだダボを合わせて天板を脚部に載せ、ダボを中心に天板を回転させながら脚部と天板の取付穴位置を揃えます。



2. 天板と脚部の固定

- ・脚部天板裏面の取付穴よりワッシャーを通した⊕ナゲシネジ 3.8×38で天板と脚部を固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（12ヶ所）
- ※全てのネジにゆるみが無いようしっかりと固定してください。



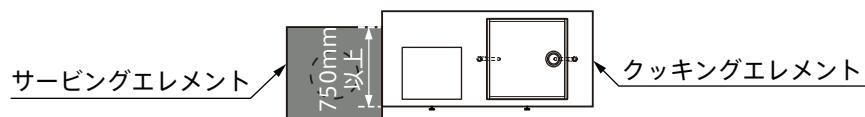
取付・設置手順

【サービスエレメントのレイアウト】 [平面図]

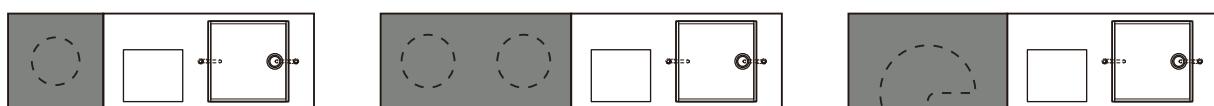
・サービスエレメントは、クッキングエレメントと750mm以上接合可能な側面（トップ側面、サイドパネル）及び、扉の無い背面（トップ対面側、FIXパネル）に設置できます。

※設置面に扉がある場合は設置できません。

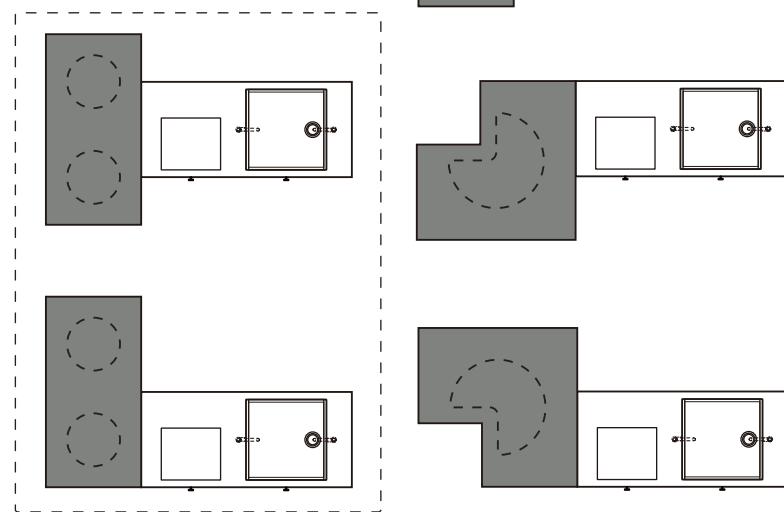
※テーブルタイプ0909/1010の場合、脚カバーの継ぎ目の並びが、取付面に対して直角となる取付けを推奨します。



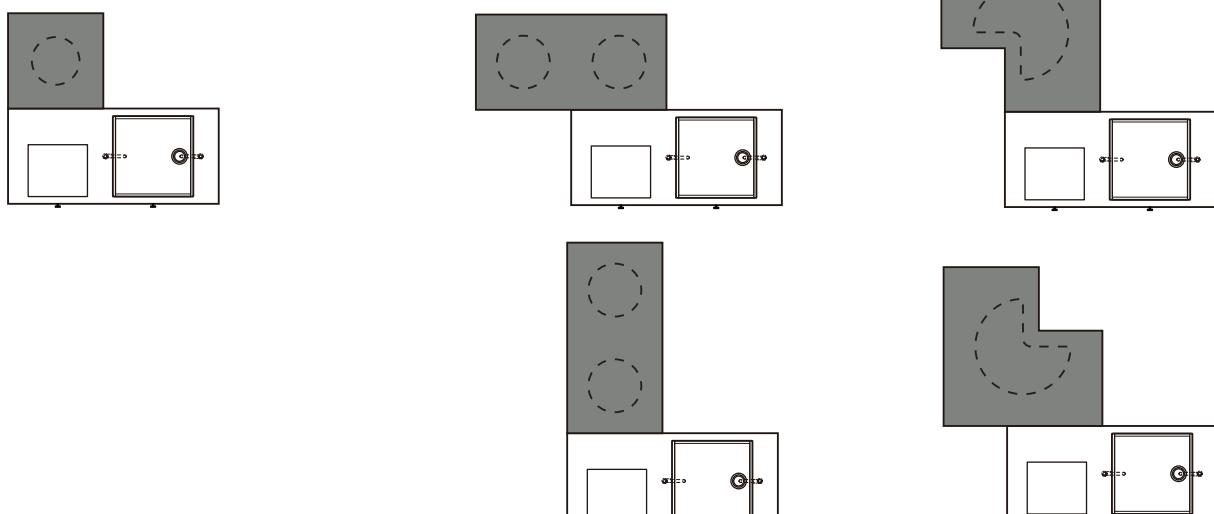
■サイドパネル面への設置例



※「」のように取付けた場合、脚カバーの継ぎ目の並びは長手方向になります。



■FIXパネル面への設置例



取付・設置手順

【クッキングエレメントへの取付け】

サービングエレメントの取付けには、天板高がクッキングエレメントのワークトップと同じ場合と、ワークトップより低い場合（パネル面への取付）があります。

※クッキングエレメントのワークトップより高い位置での取付けには対応していません。

1. サービングエレメントの仮置き

- 組立てたサービングエレメントを、クッキングエレメントの取付位置に仮置きします。

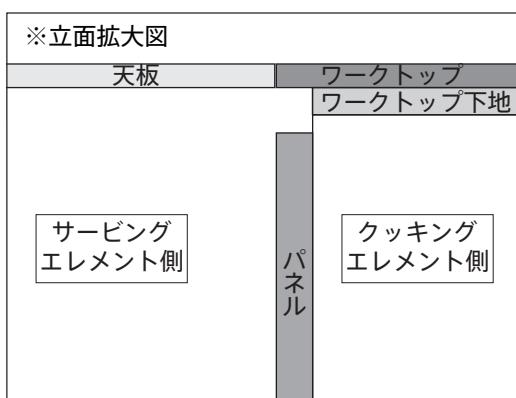
2. サービングエレメントの天板高とレベルの調整

- 脚部下部にあるアジャスター調整穴から六角レンチ 4 mmを回してアジャスターの長さを調整し、天板の高さを決めてレベルを調整します。

テーブルタイプ／IH組込対応の場合 ・・・・・・ アジャスター4ヶ所／脚部1本につき
テーブルLタイプの場合 ・・・・・・・・・・・ アジャスター7ヶ所

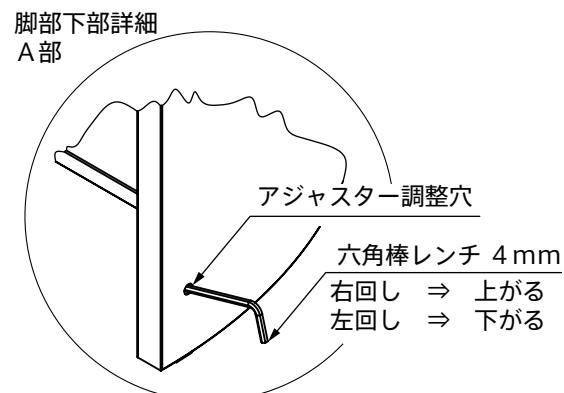
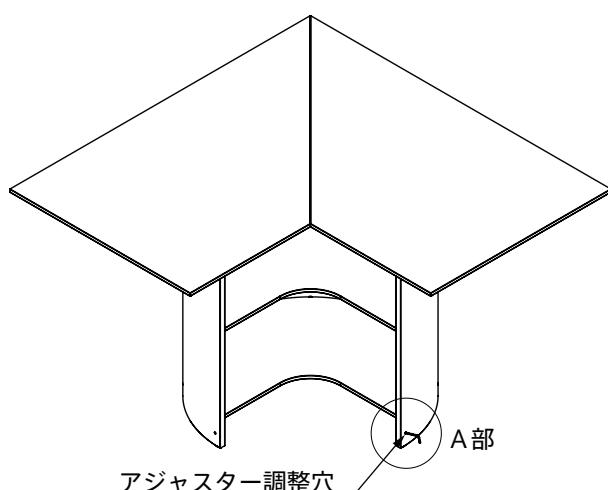
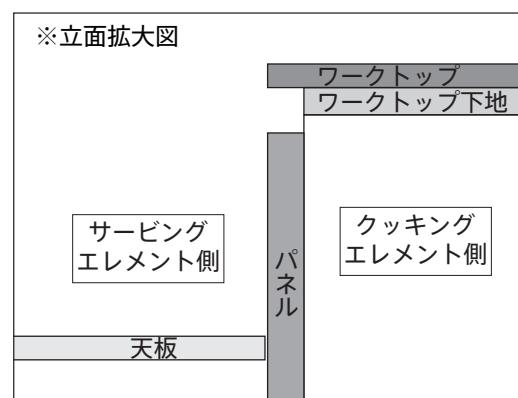
《天板高がワークトップと同じ場合》

- ワークトップに天板の高さを揃えて、
レベルを調整します。

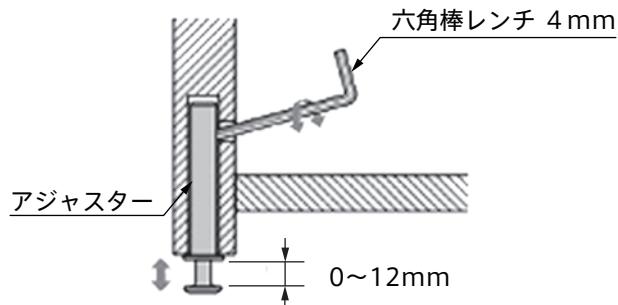


《天板高がワークトップより低い場合》

- 天板のレベルを調整します。
※この高さが天板高になります。



■ レベル調整方法



取付・設置手順

3. 固定金具の取付け

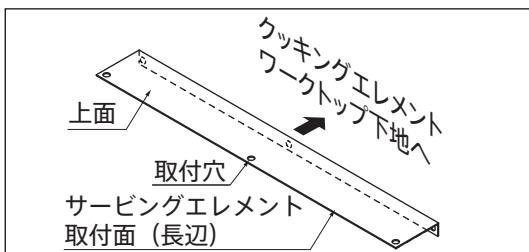
- ・固定金具の短辺をクッキングエレメントに取付けます。固定金具は接合面の両端 25 mm入った位置に端を揃えて、左右で一対取付けます。天板高により金具と取付位置（高さ）を確認してください。

※接合面が必ず 750 mm以上あることを確認してください。

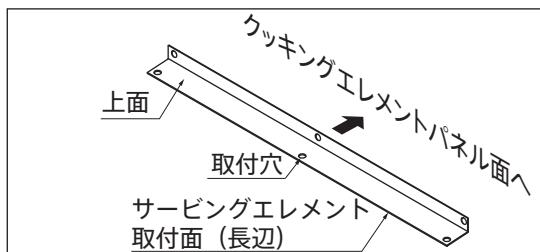
※サービングエレメントの天板高に合わせた固定金具と取付ける向きを確認してください。

ワークトップと同じ場合・・・ワークトップ用 (W350×D50×H13)
ワークトップより低い場合・・・パネル用 (W350×D25×H13)

■ワークトップ用固定金具の取付向き

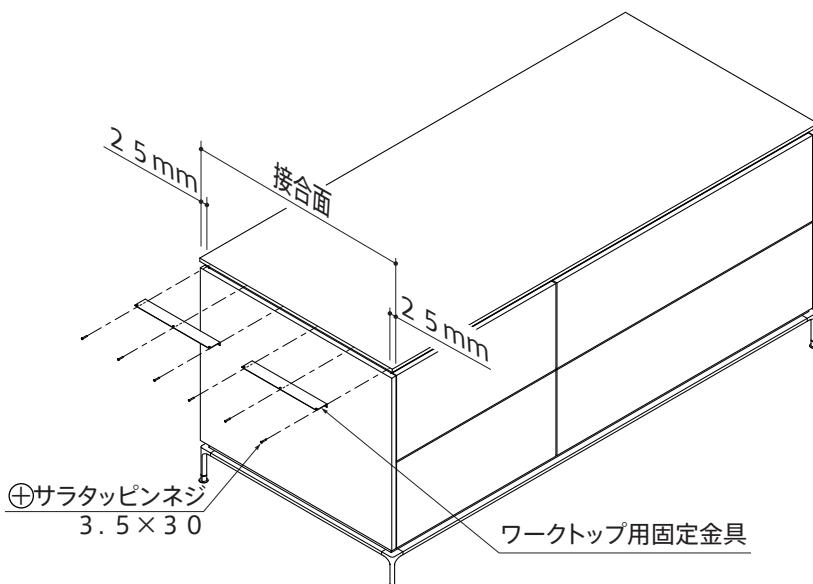


■パネル用固定金具の取付向き

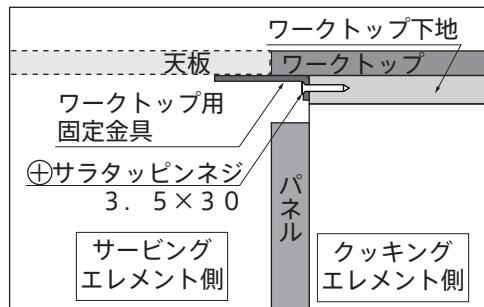


《天板高がワークトップと同じ場合》

- ・固定金具をクッキングエレメントのワークトップ下地に取付けます。
- ・長辺を上にしたワークトップ用固定金具の端を合わせ、ワークトップ裏面とワークトップ下地にしっかりと当てて、短辺側の取付穴から⊕サラタッピンネジ 3.5×30 で固定します。



■取付断面図

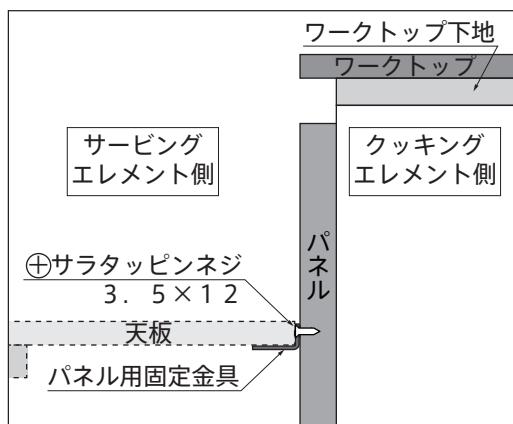


《天板高がワークトップより低い場合》

- ・固定金具をクッキングエレメントのパネル面に取付けます。
- ・長辺を下にしたパネル用固定金具の端を合わせ、レベルを合わせたサービングエレメントを載せた際に、天板裏面と固定金具、脚部と床がそれぞれしっかりと接する高さで、パネルに当てた短辺側の取付穴から⊕サラタッピンネジ 3.5×12 で固定します。

※必ず左右のパネル用固定金具のレベルを合わせてください。

■取付断面図



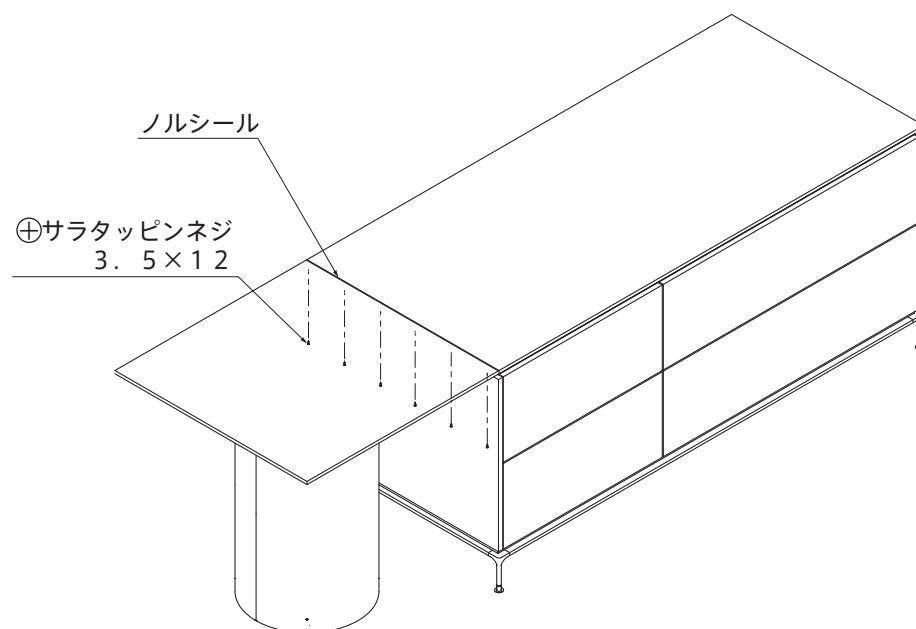
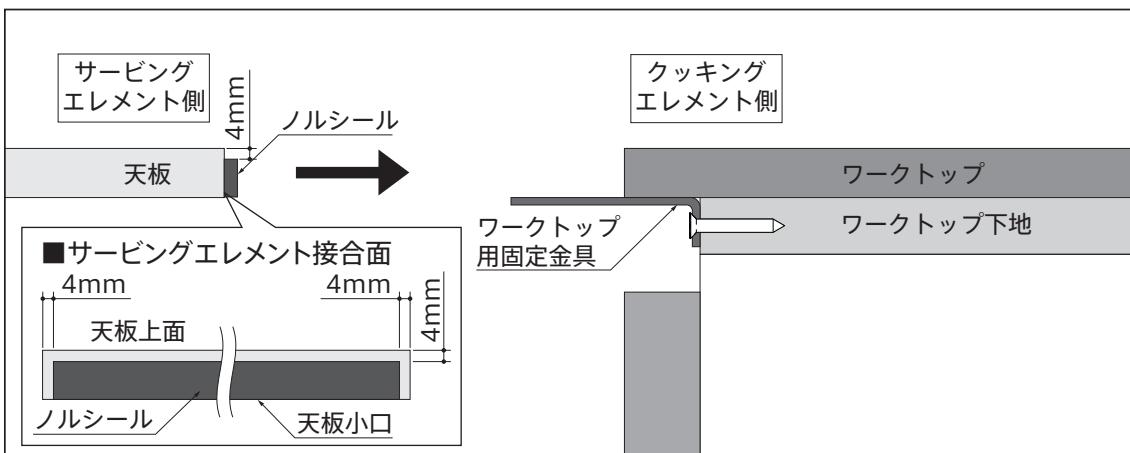
取付・設置手順

4. サービングエレメントの固定

※固定前にクッキングエレメントとサービングエレメントの接合面をきれいに拭き取ってください。

- ・サービングエレメントの接合面の天板小口に、上面から4mm下、両端から4mm入った位置に合わせてノルシール（付属）を貼り付けます。
- ・固定金具の長辺にサービングエレメントの天板を仮置きして端を合わせて、天板レベルを確認します。
- ※ノルシールの剥離紙を剥がす前に、必ず固定金具に載せた状態のサービングエレメントの天板のレベルを確認し、必要に応じてアジャスターを調整してください。
- ・ノルシールの剥離紙を剥がして、ノルシールを押しつぶすようにサービングエレメントをクッキングエレメントにしっかりと押し付けた状態にします。
- ・固定金具長辺側取付穴から天板裏面を \oplus サラタッピンネジ3.5×12で固定します。

■ノルシール取付断面図



※図はワークトップ用固定金具の取付けを示すがパネル用固定金具も同様。

取付・設置手順

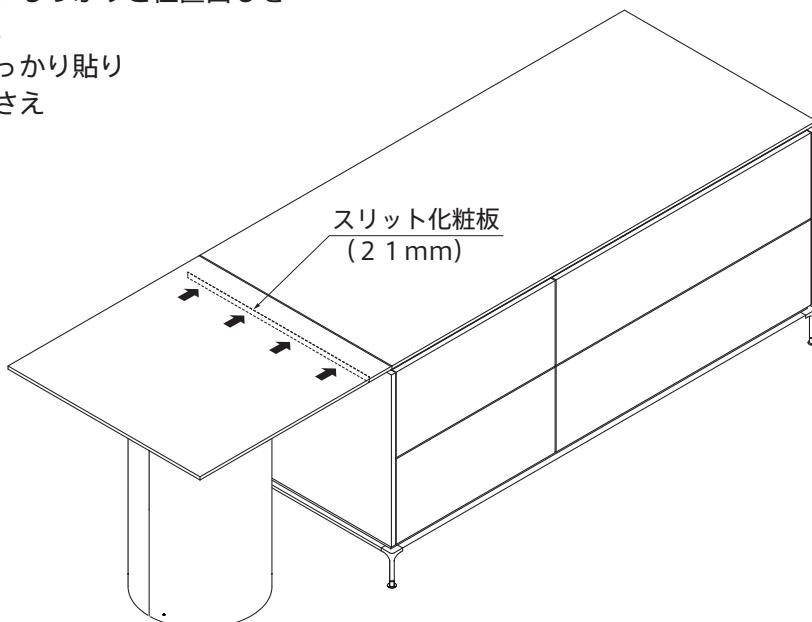
5. スリット化粧板の貼り付け（※天板高がワークトップと同じ場合のみ）

※スリット化粧板を取付ける前に、ワークトップ用固定金具の短辺側の表面をきれいに拭き取ってください。

- ・固定金具のクッキングエレメント側（ワークトップ下地に取付けた短辺側）の上にスリット化粧板を貼り付けます。

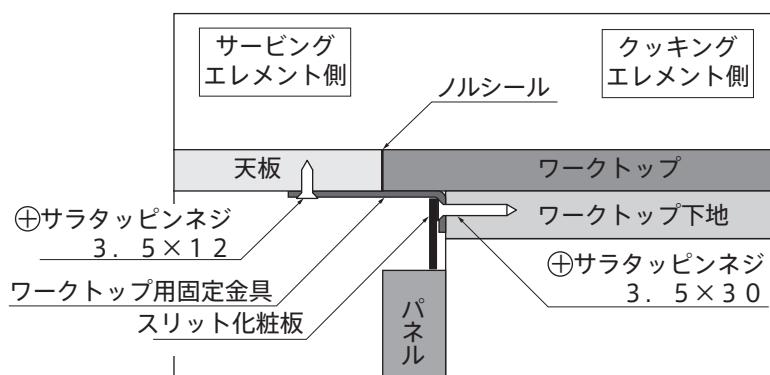
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

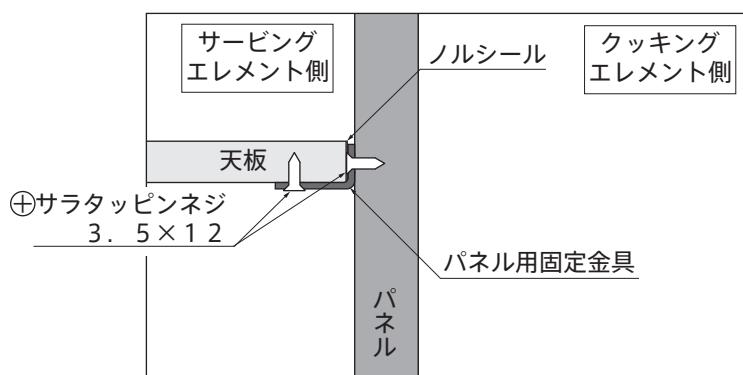


■取付部分断面図

《天板高がワークトップと同じ場合》



《天板高がワークトップより低い場合》



※IH組込対応は、次項【IHクッキングヒーターの取付け】を行ってください。

取付・設置手順

【IHクッキングヒーターの取付け】（※IH組込対応の場合のみ）

⚠ 警告

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

6. 単相200V 20Aアース付コンセントの結線（※コンセントは別途用意）

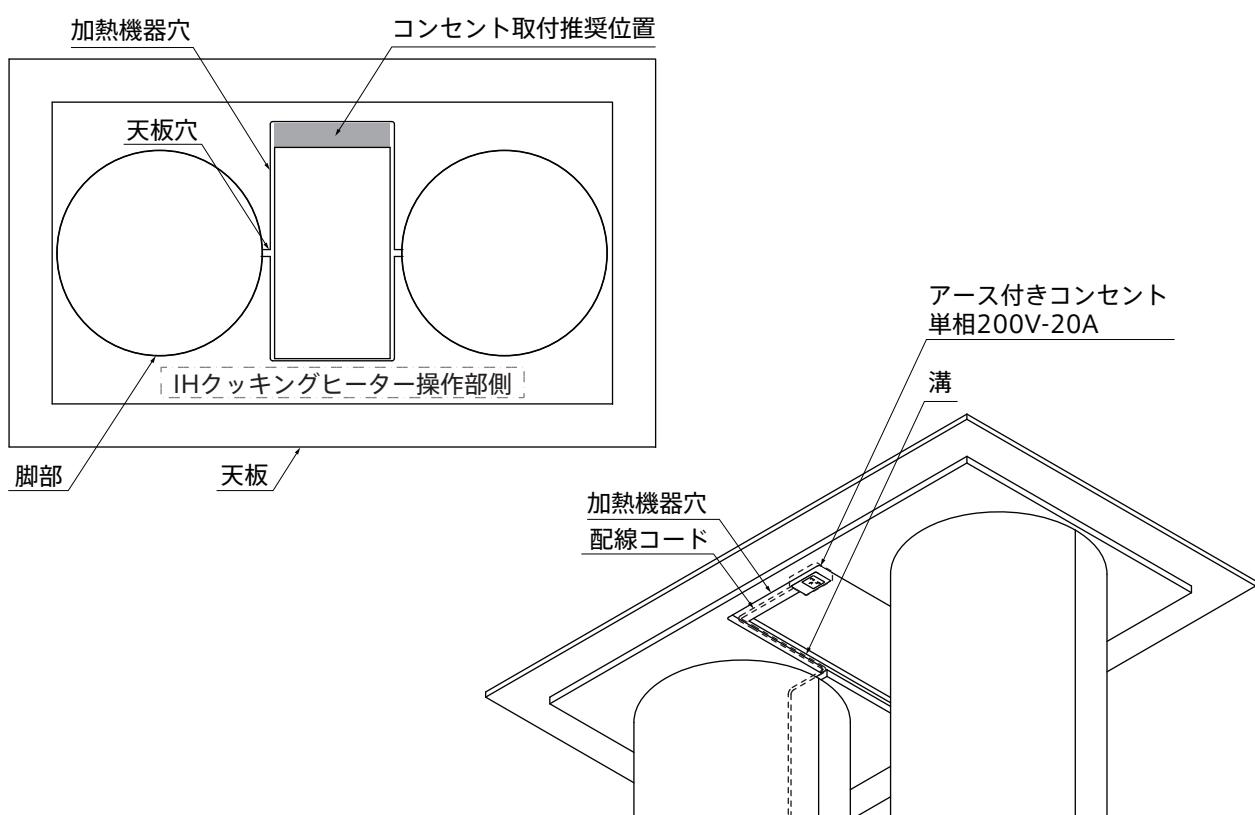
- 天板裏に配線する必要な長さを残してカットした配線コードの先に、単相200V 20Aアース付コンセントを取付けます。

※サイズが大きいコンセントの場合、IHカバー内にプラグがおさまらないことがあります。

推奨品：パナソニック製 15A・20A兼用露出アースターミナル付設置コンセント
(品番 WKS294)

7. アース付コンセントの固定

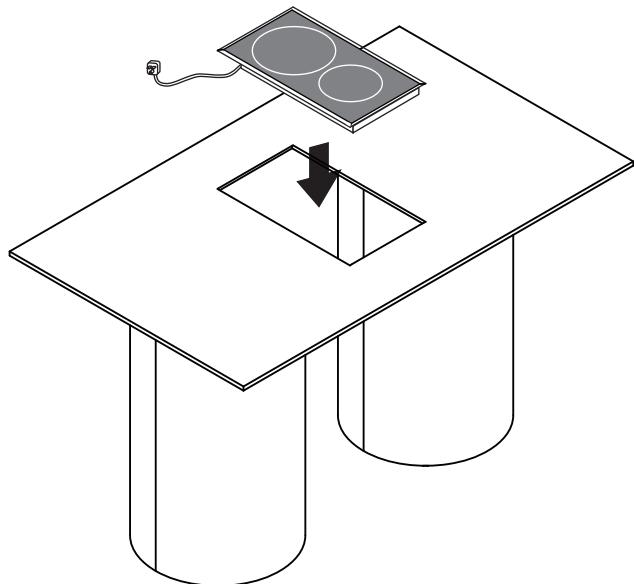
- 天板裏のコンセント取付推奨位置に、コンセントをネジ（別途用意）で固定します。
- コンセントから天板穴までの配線コードは、たるみやねじれを取り除きながら加熱機器穴に沿わせて溝に通し、配線止めのステープラ等で天板裏に固定します。



取付・設置手順

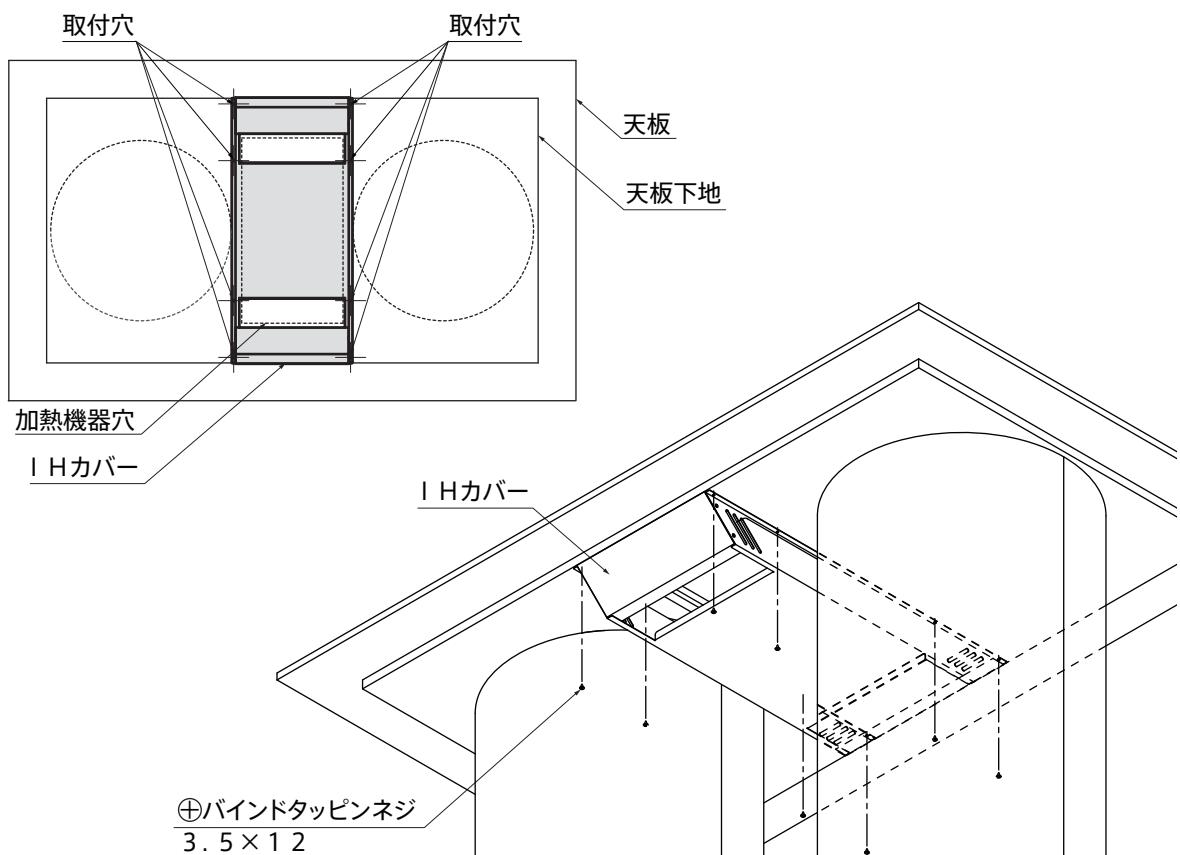
8. 加熱機器の取付け

- 付属の「取付・設置説明書」に従って、IHクッキングヒーターを取付けます。



9. IHカバーの取付け

- 設置したIHクッキングヒーターの下側にIHカバーを取付けます。
- IHカバーの奥行き方向は天板下地に合わせ、間口方向は加熱機器穴に対して左右均等になるように \oplus バインドタッピングネジ3. 5×12で天板裏面に固定します。



取付・設置手順

ダイニングブロック テーブルタイプ、カウンタータイプの取付け

※URBANCORE ヴェネツィアとガルガーノベネツィアのガラス面には取付けられません。

1 スペーサーの取付け

※キッチンのサイドパネル側にテーブルタイプを取付ける場合、
スペーサーは不要です。

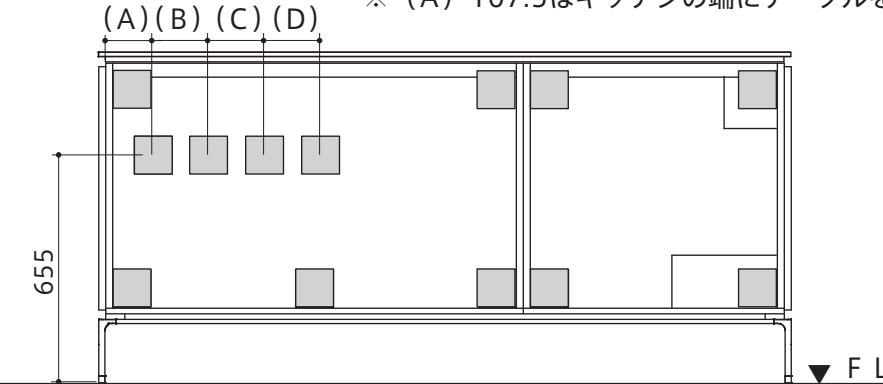
【テーブルタイプの場合】

- ・テーブルを取付けるユニットの指定位置にスペーサー（18 mm、2.5 mm）を両面テープにて
仮止めし、FIXパネルを取付けます。

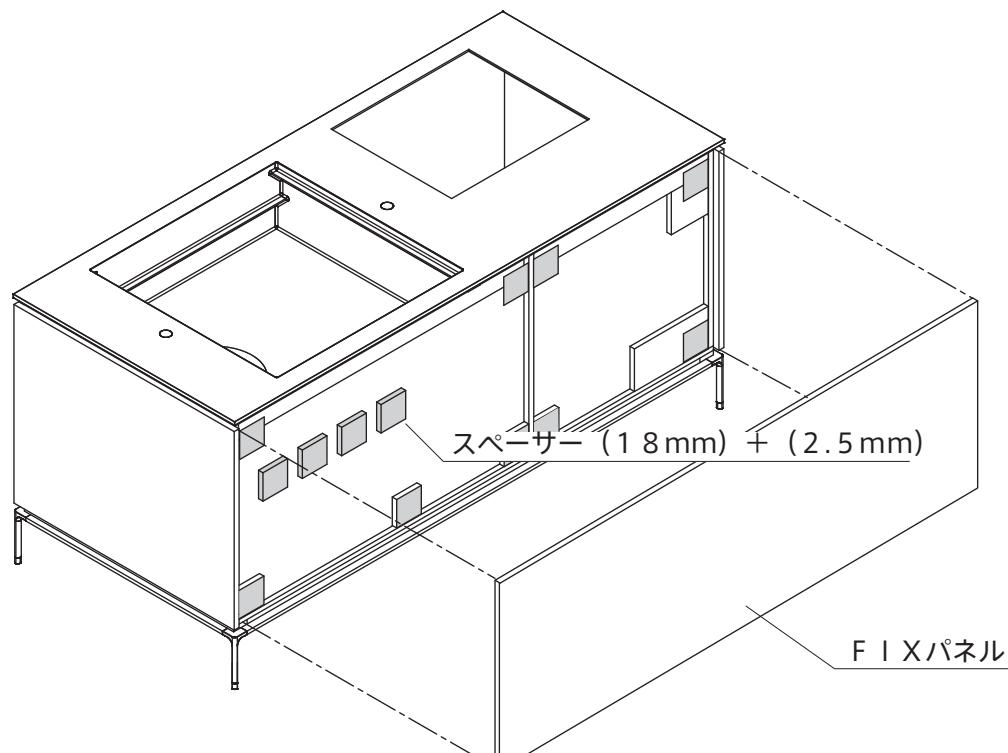
スペーサー取付位置 [ユニット背面図]

D 755 の場合	(A) 107.5 (B) 180 (C) 180 (D) 180
D 900 の場合	(A) 107.5 (B) 228 (C) 229 (D) 228
D 1050 の場合	(A) 107.5 (B) 278 (C) 279 (D) 278

※ (A) 107.5はキッチンの端にテーブルを取付けた場合



■ … t 2.5 mmスペーサー



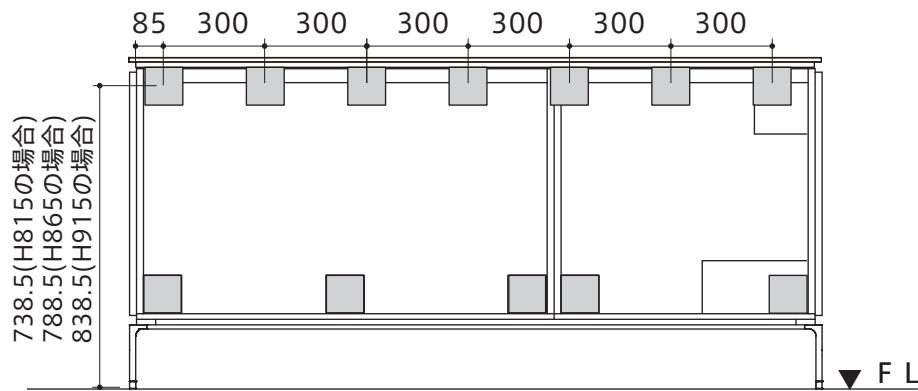
取付・設置手順

【カウンタータイプの場合（F I Xパネルに連結）】

- カウンターを取付けるユニットの指定位置にスペーサー（2.5 mm）を両面テープにて仮止めし、F I Xパネルを取付けます。

スペーサー取付位置 [ユニット背面図]

ワークトップ間口と同じ場合

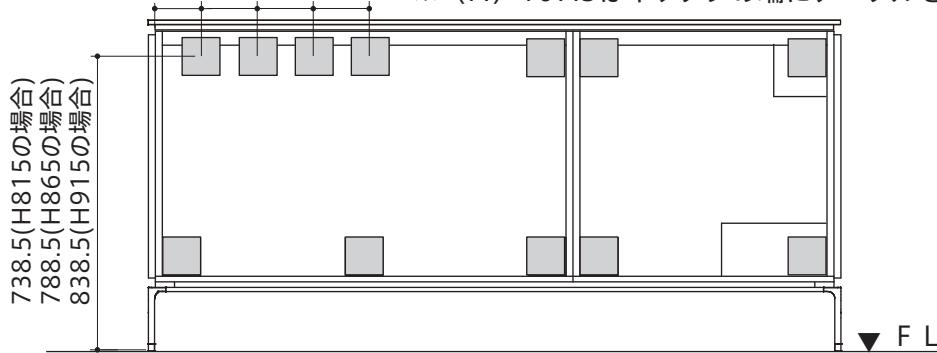


D 755の場合 (A) 107.5 (B) 180 (C) 180 (D) 180

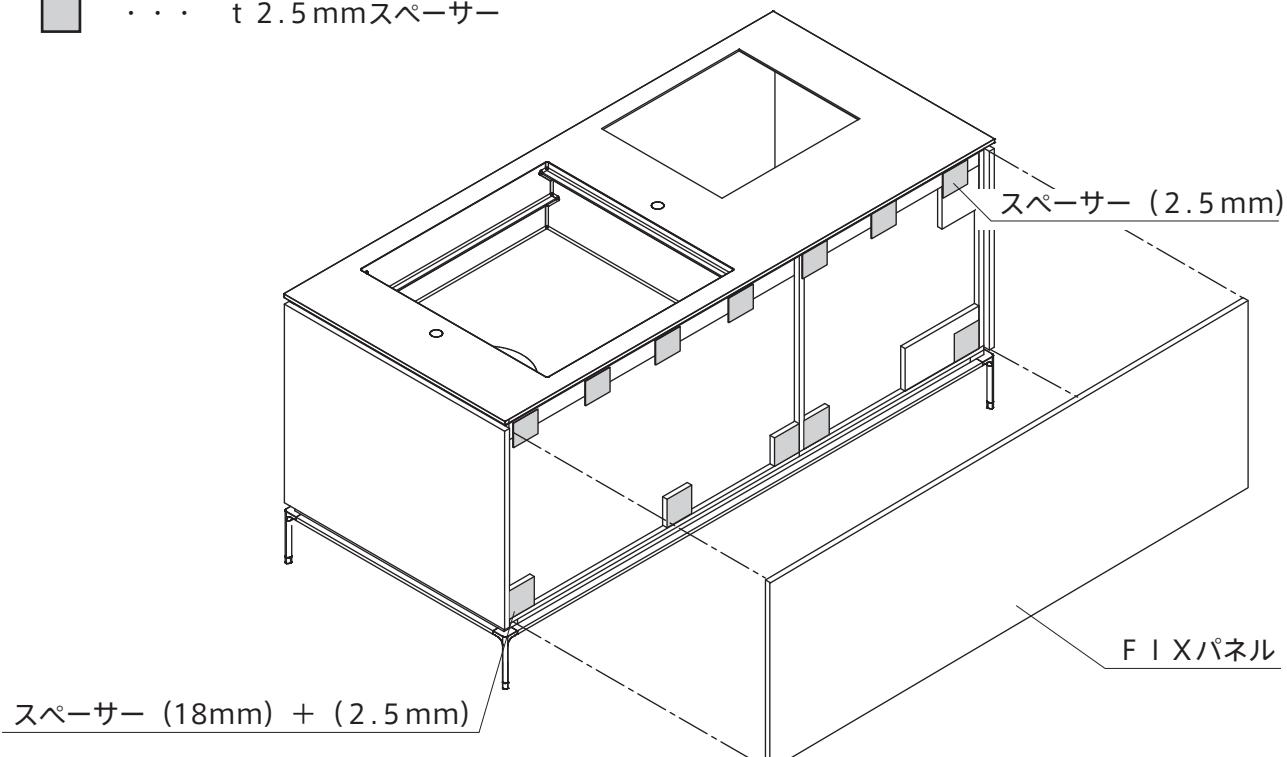
D 900の場合 (A) 107.5 (B) 228 (C) 229 (D) 228

D 1050の場合 (A) 107.5 (B) 278 (C) 279 (D) 278

(A)(B)(C)(D) ※ (A) 107.5はキッチンの端にテーブルを取付けた場合



... t 2.5 mmスペーサー

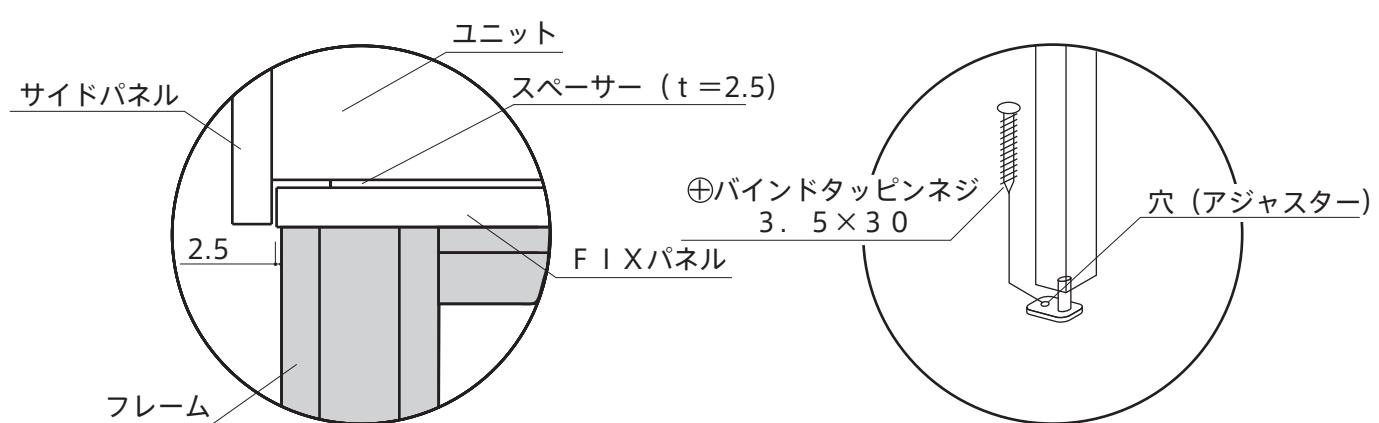
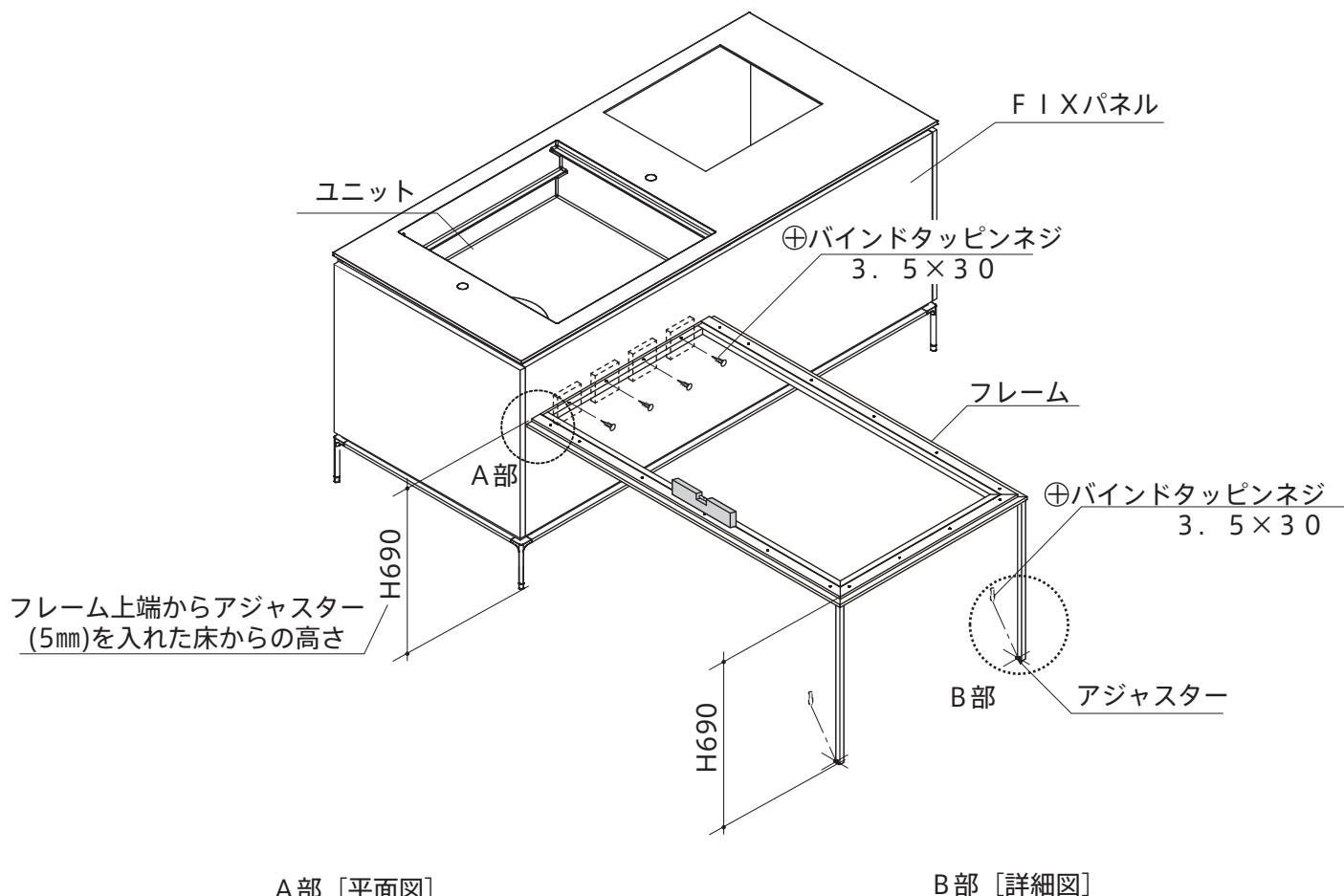


取付・設置手順

2 フレームの取付け

【テーブルタイプの場合】

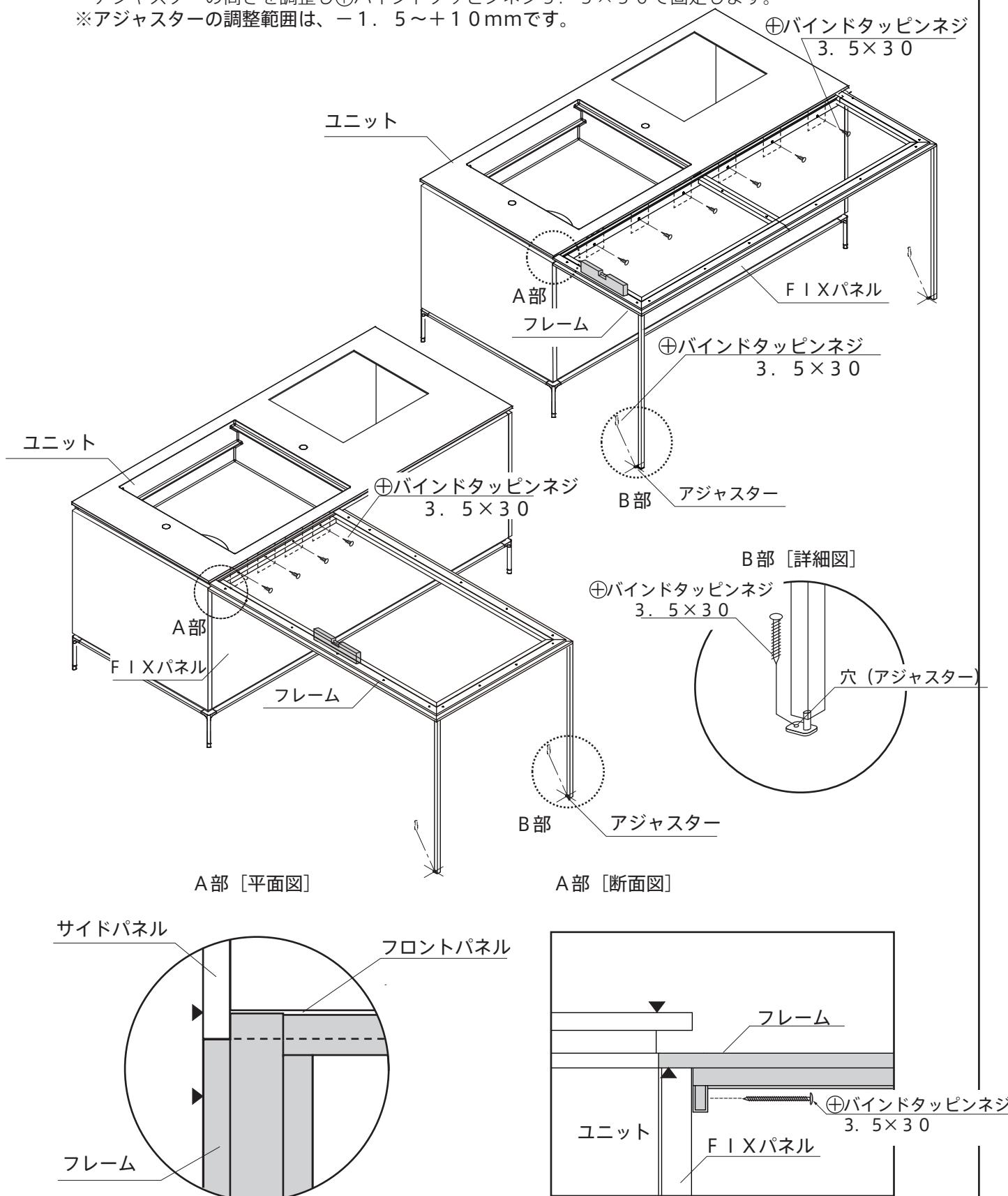
- ・アジャスターの高さを調整しフレーム全体の水平を取り、ユニットの所定の位置に \oplus バインドタッピンネジ3.5×30で固定します。
- ・アジャスターを \oplus バインドタッピンネジ3.5×30で固定します。
※アジャスターの調整範囲は、-1.5～+10mmです。



取付・設置手順

【カウンタータイプの場合(FIXパネルに連結)】

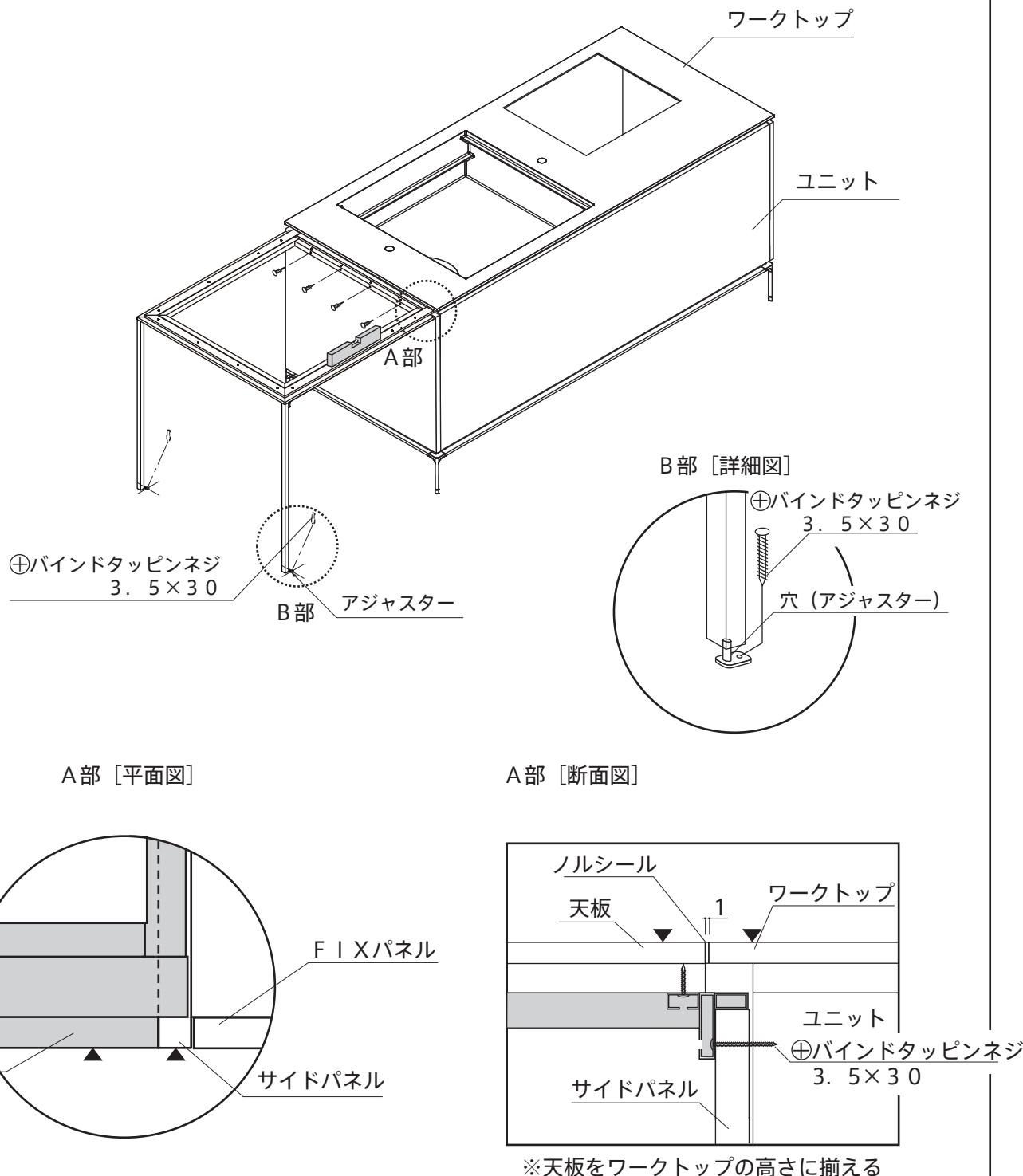
- サイドパネルの位置とフレームの側面を揃えFIXパネルの上にカウンターをのせます。
- フレームの水平を取って、ユニットに \oplus バインドタッピングネジ3.5×30で固定します。
- アジャスターの高さを調整し \oplus バインドタッピングネジ3.5×30で固定します。
- *アジャスターの調整範囲は、-1.5~+10mmです。



取付・設置手順

【カウンタータイプの場合（サイドパネルに連結）】

- ・パネルの位置とフレームの側面を揃えサイドパネルの上にカウンターをのせます。
フレームの水平を取って、サイドパネルに \oplus バインドタッピンネジ 3.5×30 でフレームを固定します。
- ・アジャスターの高さを調整し \oplus バインドタッピンネジ 3.5×30 で固定します。
※アジャスターの調整範囲は、-1.5～+10mmです。

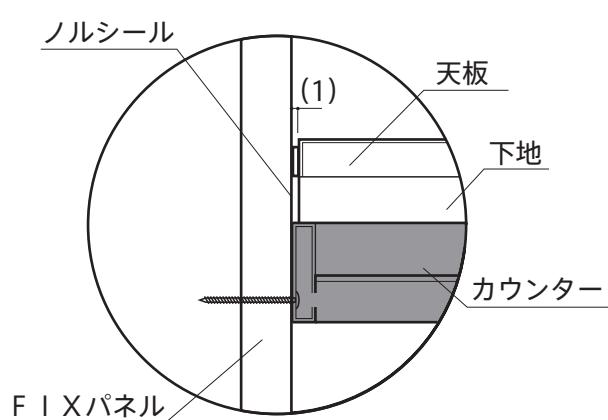
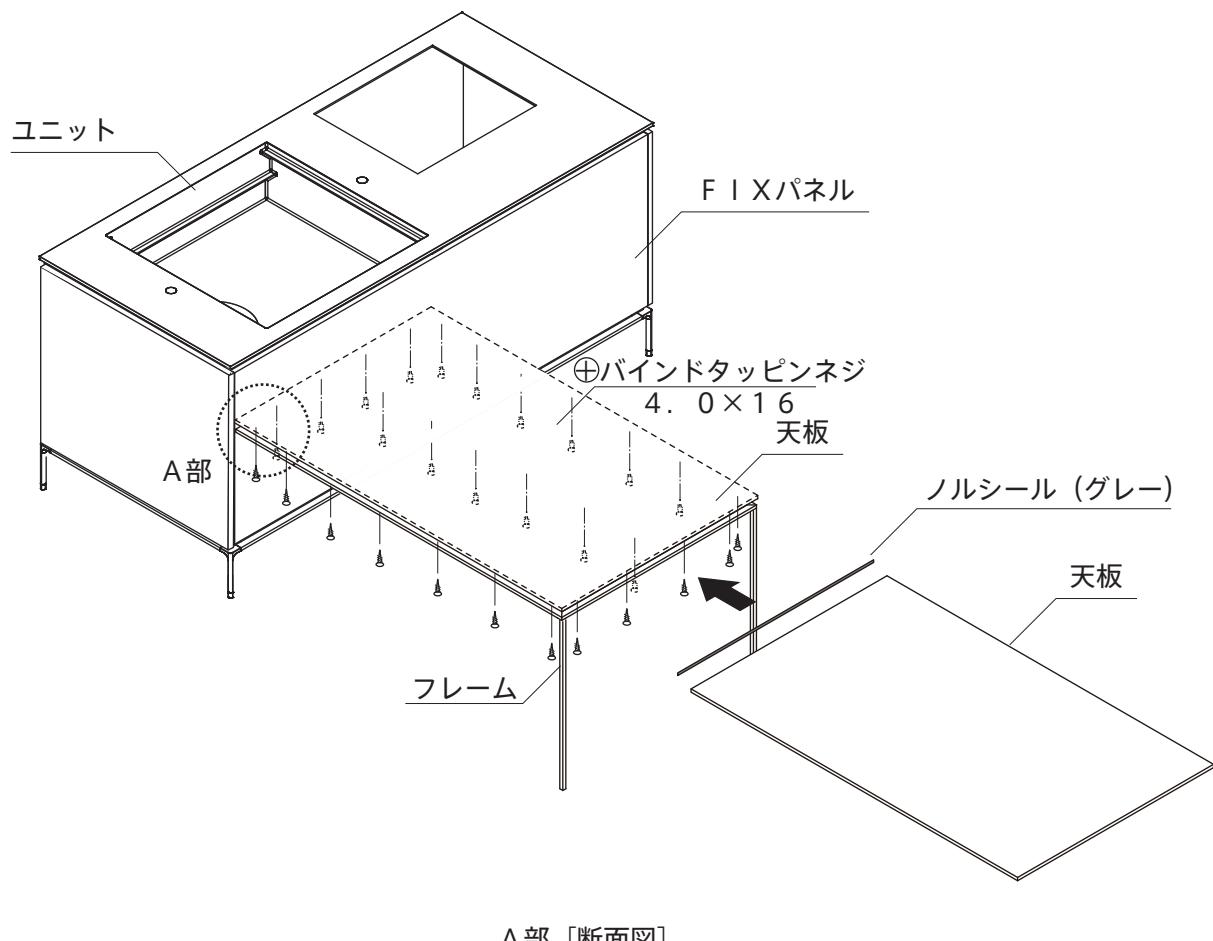


取付・設置手順

3 天板の取付け

【テーブルタイプの場合】

- 天板のF IXパネル接着面にノルシール（グレー）を付けてからフレームに設置し、F IXパネルに天板を押し付けます。
下から \oplus バインドタッピングネジ4. 0×16で固定します。

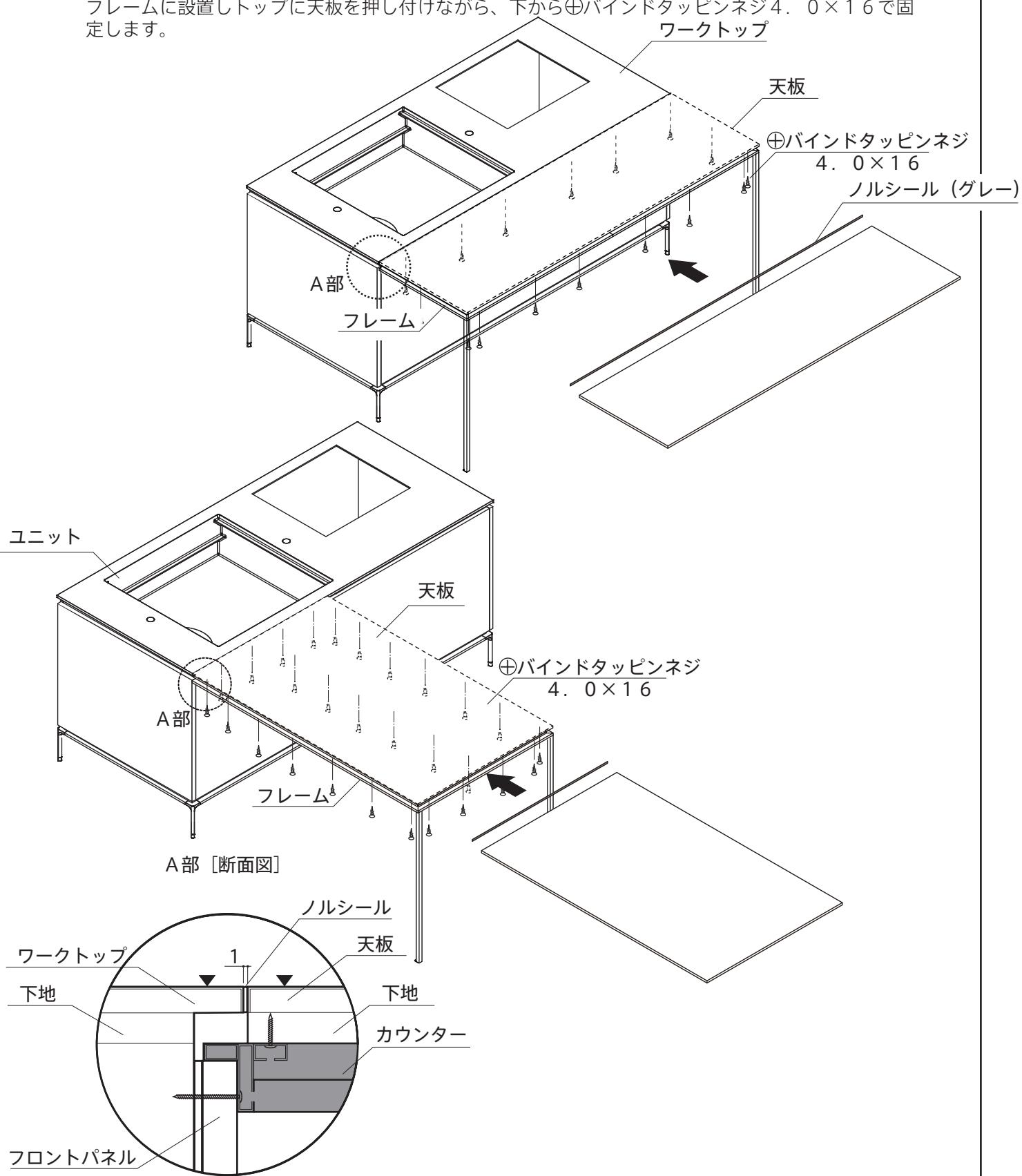


取付・設置手順

【カウンタータイプの場合】

※リニアトップにカウンタータイプを取付ける場合、リニアトップは厚みは薄いため、カウンタータイプの天板の厚みを揃えるにはリニアタイプを組み合わせてください。

- ・トップと天板の高さが同じである事を確認し、天板のトップ接着面にノルシール（グレー）を付け、フレームに設置しトップに天板を押し付けながら、下から \oplus バインドタッピングネジ4.0×16で固定します。



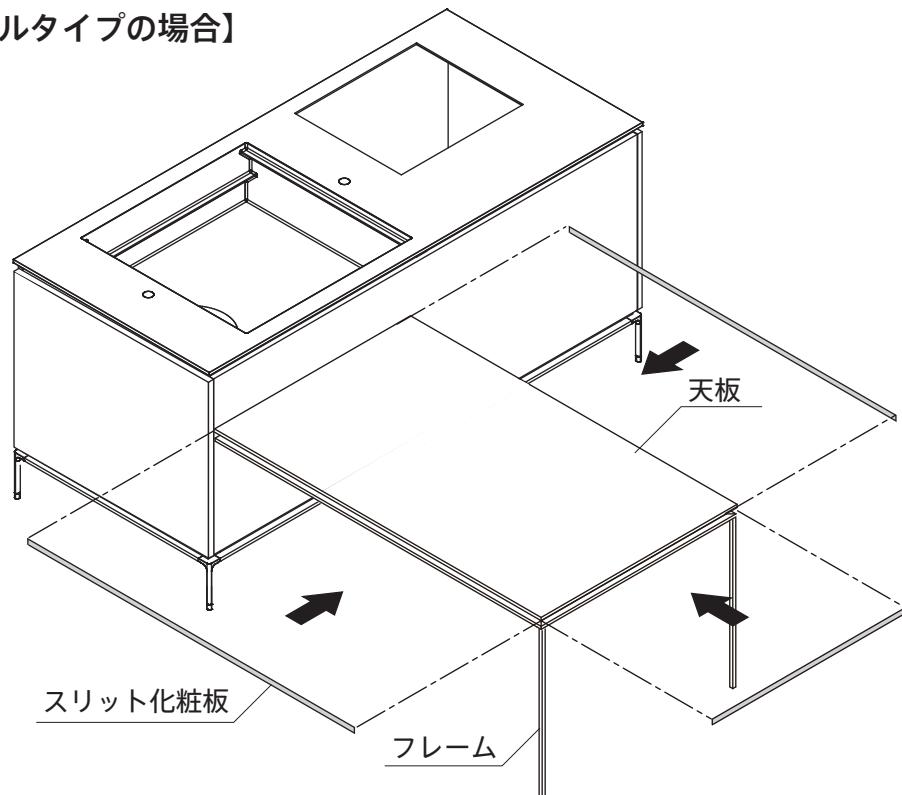
※天板をワークトップの高さに揃える

取付・設置手順

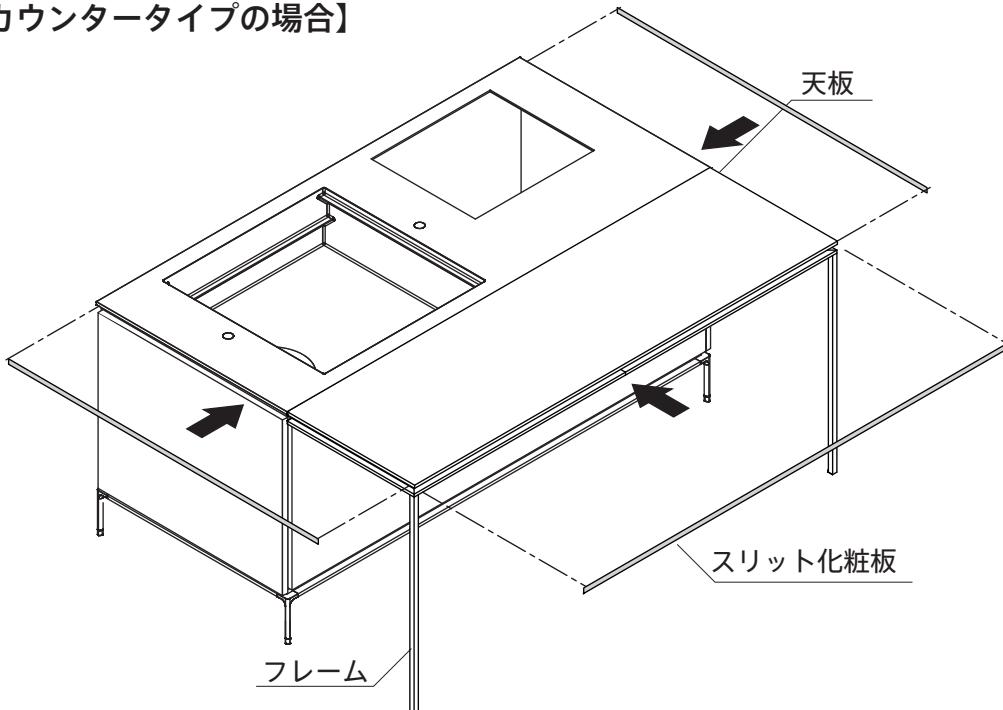
4 スリット化粧板の貼付け

- フレームと天板設置面を覆うように、スリット化粧板（25mm）を貼付けます。
※貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

【テーブルタイプの場合】



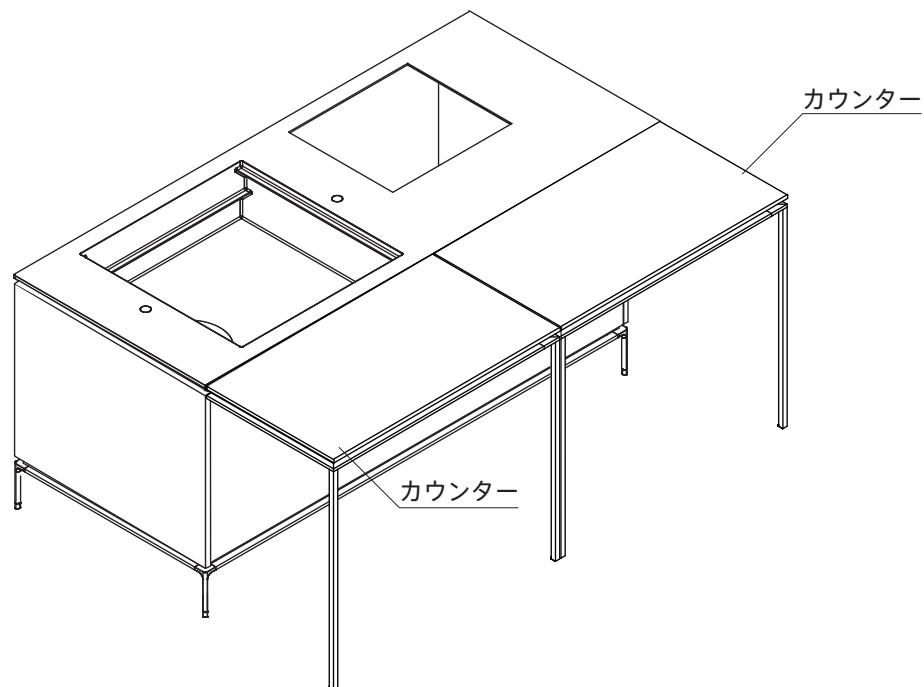
【カウンタータイプの場合】



取付・設置手順

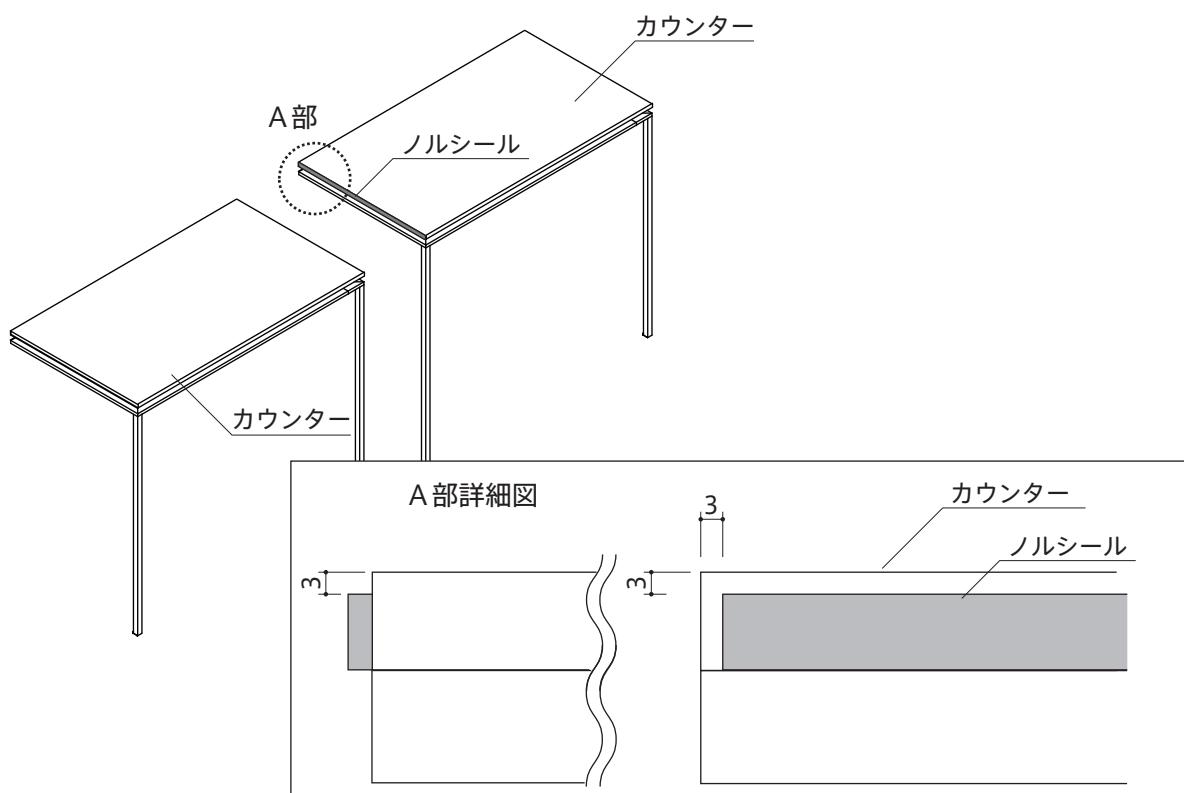
【カウンタータイプを連結する場合】

※間口 1991 mm以上は連結にて対応します。
※連結時は、連結金具M K O P - I C F Z K 1が別途必要です。



1 ノルシールの貼り付け

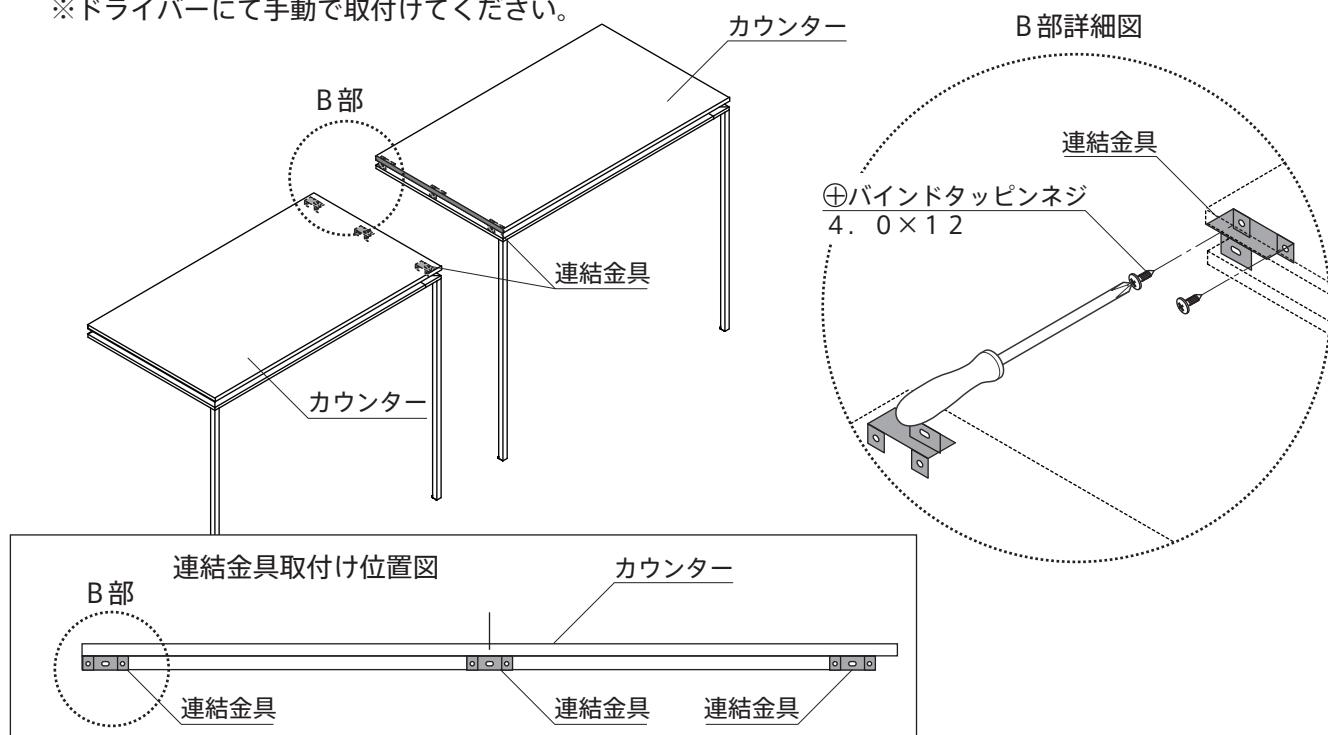
・カウンターの連結部分にノルシールを貼り付けます。片方のカウンターの3.0 mm程度内側に貼り付けます。
※この時まだノルシールの保護シートは剥がさないでください。



取付・設置手順

2 連結金具の取付け

- 連結部分のカウンタ下地に連結金具を取付けます。連結金具を連結するカウンターの両端とセンター3ヶ所に各2個、計6ヶ所ずつ \oplus バインドタッピンネジ4.0×12で取付けます。
※ドライバーにて手動で取付けてください。

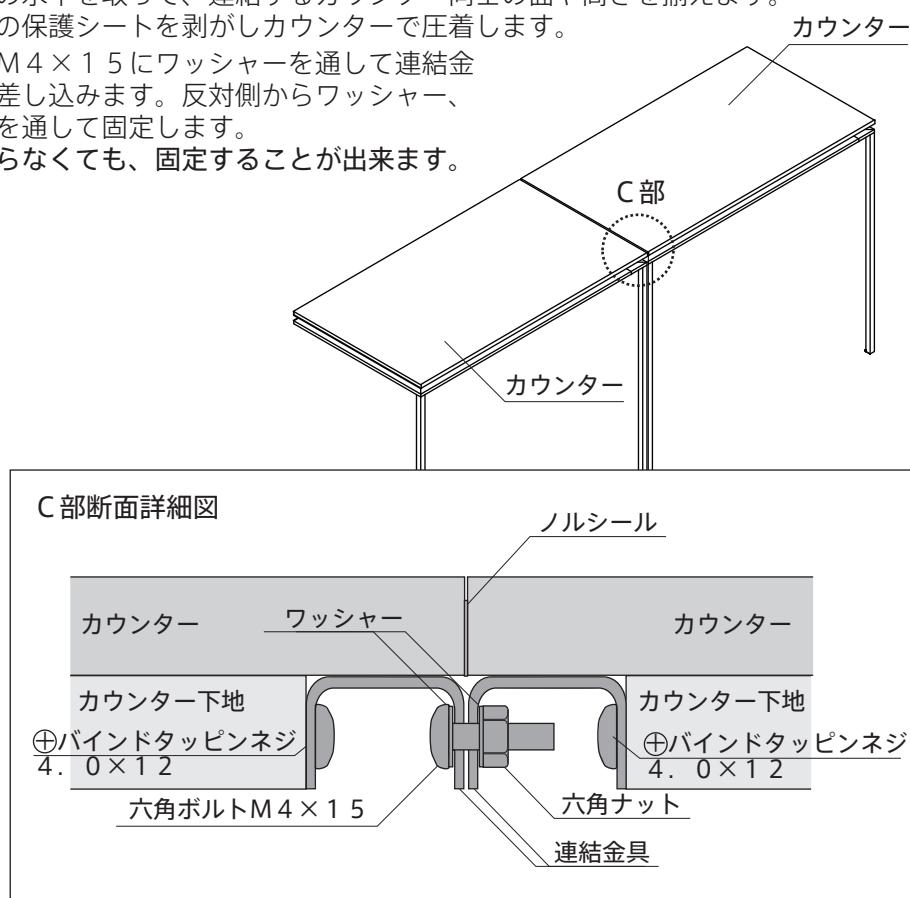


3 カウンターの連結

- カウンターの水平を取って、連結するカウンター同士の面や高さを揃えます。
ノルシールの保護シートを剥がしカウンターで圧着します。

- 六角ボルトM4×15にワッシャーを通して連結金具の長穴に差し込みます。反対側からワッシャー、六角ナットを通して固定します。

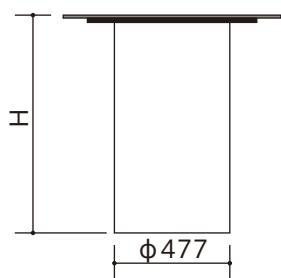
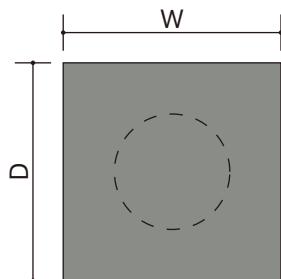
※ネジは締切らなくても、固定することが出来ます。



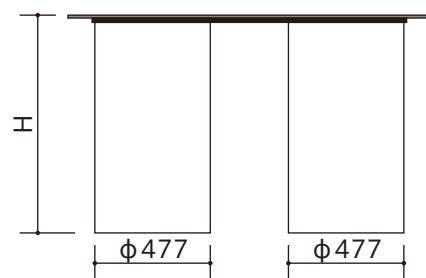
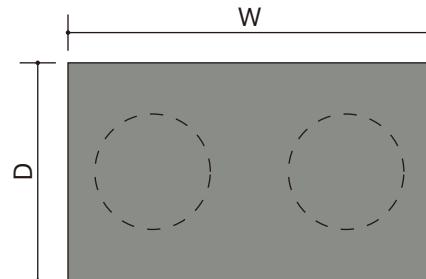
製品寸法図

サービスエレメント 【テーブルタイプ】

- MKSC1 - 1010J*(95・90・85・75)
- MKSC1 - 0909J*(95・90・85・75)

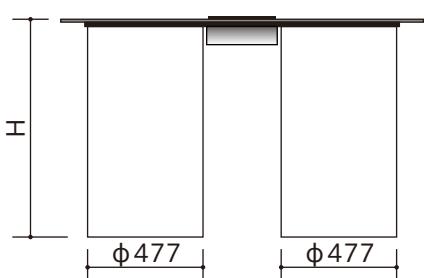
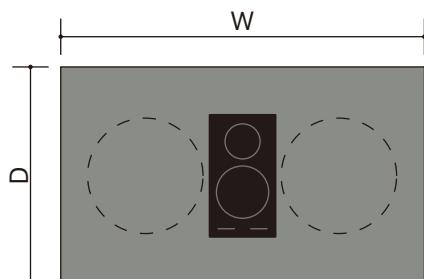


- MKSC1 - 1809J*(95・90・85・75)
- MKSC1 - 1509J*(95・90・85・75)



【テーブルタイプ】H組込対応】

- MKSC1 - 1809J*(95・90・85・75)G
- MKSC1 - 1509J*(95・90・85・75)G

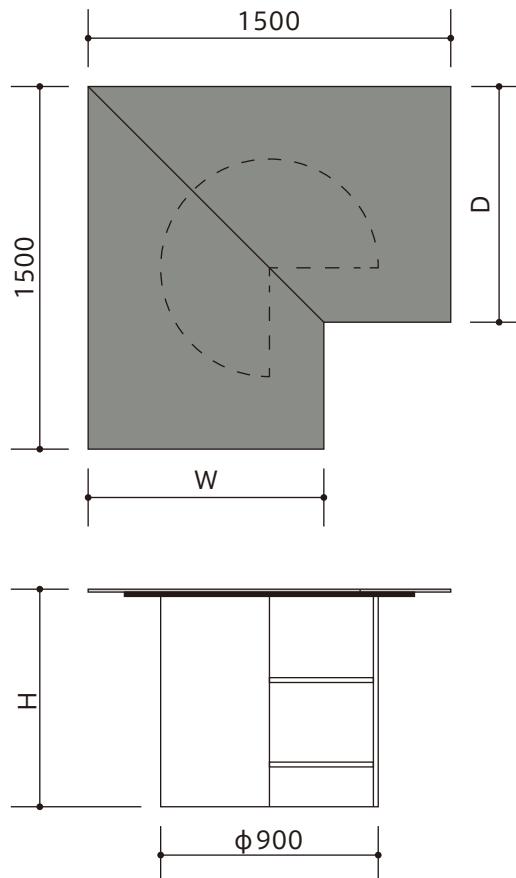


品 番	W	D	H			
			95	90	80	75
MKSC1 - 1010J*(95・90・85・75)	1050	1050				
MKSC1 - 0909J*(95・90・85・75)	900	900				
MKSC1 - 1809J*(95・90・85・75)	1800	900	950	900	800	750
MKSC1 - 1509J*(95・90・85・75)	1500	900				
MKSC1 - 1809J*(95・90・85・75)G	1800	900				
MKSC1 - 1509J*(95・90・85・75)G	1500	900				

製品寸法図

【テーブルLタイプ】

※図はH850/900/950を示す。H750の場合、棚板は1枚。



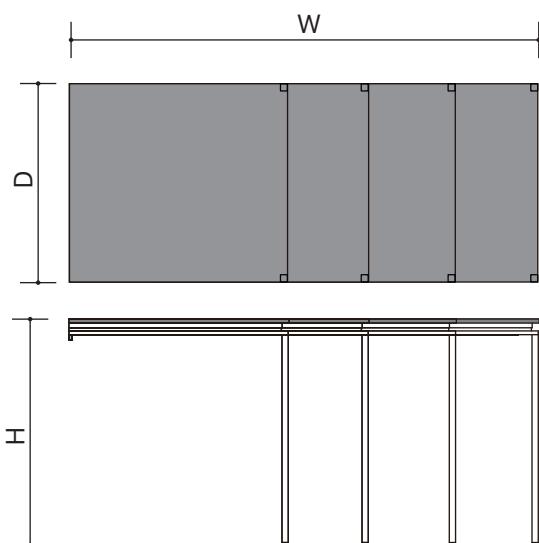
品番	W	D	H			
			95	90	85	75
MKSC2-1515D10J*(95・90・85・75)	1050	1050	950	900	850	750
MKSC2-1515D09J*(95・90・85・75)	900	900				

製品寸法図

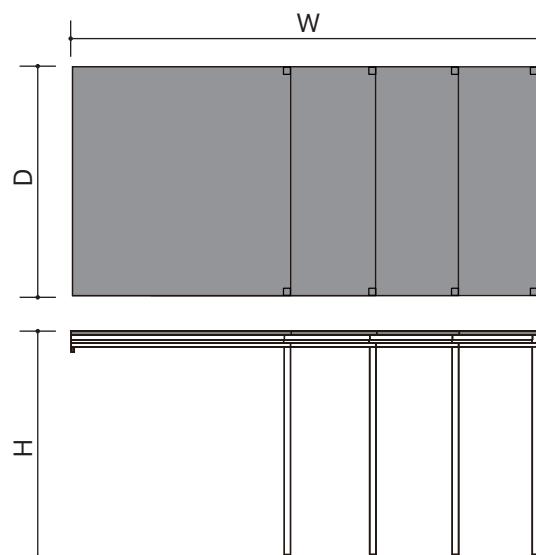
ダイニングブロック

【テーブルタイプ】

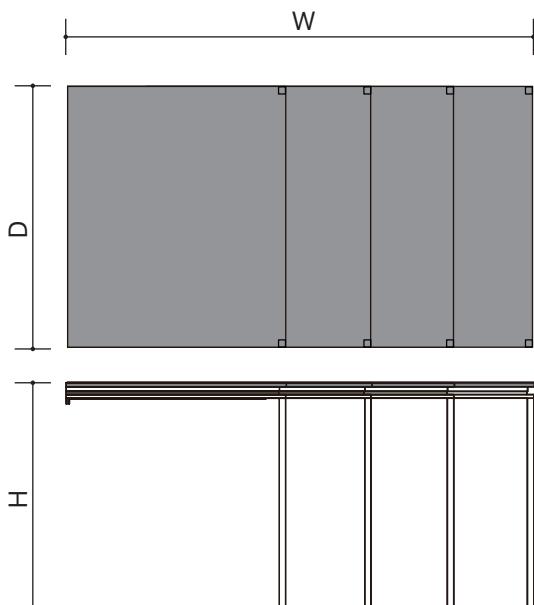
■MKIC87 - (90・120・150・180)***



■MKIC47 - (90・120・150・180)***



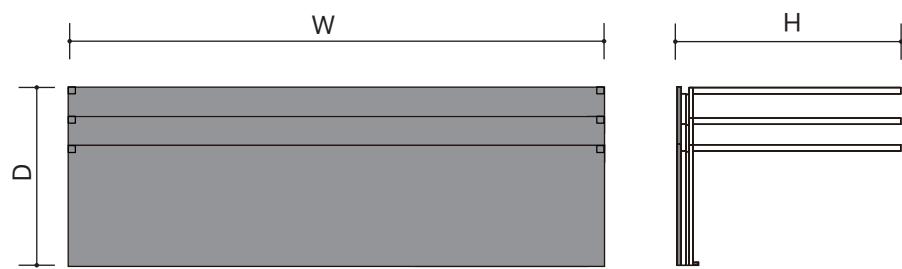
■MKIC67 - (90・120・150・180)**



品 番	W				D	H
	90	120	150	180		
MKIC87 - (90・120・150・180)***	900	1200	1500	1800	755	720
MKIC47 - (90・120・150・180)***					900	
MKIC67 - (90・120・150・180)**					1050	

製品寸法図

- MKIC17 - (124・184・199)****
- MKIC77 - (124・184・199)****
- MMC87 - (124・184・199)**Z



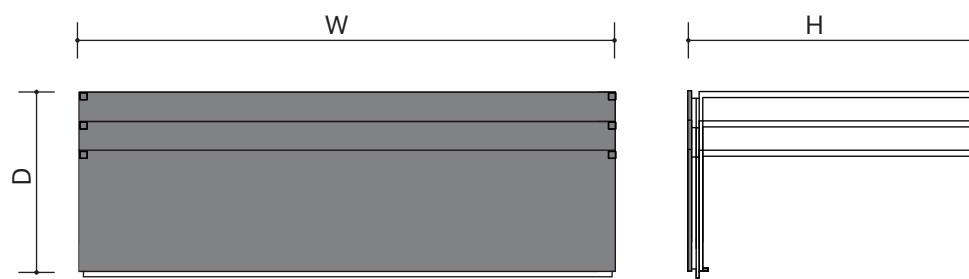
品 番	W			D	H
	124	184	199		
MKIC17 - (124・184・199)****	450~ 1240	1241~ 1840	1841~ 1990	450	720
MKIC77 - (124・184・199)****				600	
MMC87 - (124・184・199)**Z				755	

製品寸法図

【カウンタータイプ】

- MKIC11 - (124・184・199)****
- MKIC81 - (124・184・199)****
- MKIC75 - (124・184・199)****
- MKIC12 - (124・184・199)****
- MKIC82 - (124・184・199)****

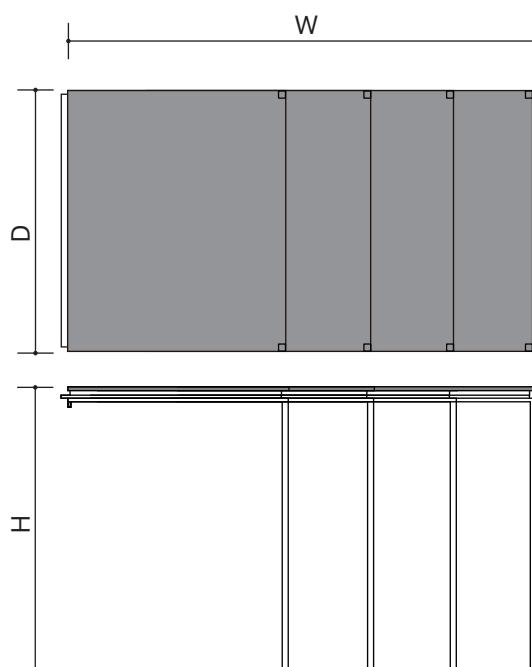
- MKIC71 - (124・184・199)****
- MKIC15 - (124・184・199)****
- MKIC85 - (124・184・199)****
- MKIC72 - (124・184・199)****



品番	W			D	H
	124	184	199		
MKIC11 - (124・184・199)****	450～ 1240	1241～ 1840	1841～ 1990	450	850
MKIC71 - (124・184・199)****				600	850
MKIC81 - (124・184・199)****				755	850
MKIC15 - (124・184・199)****				450	900
MKIC75 - (124・184・199)****				600	900
MKIC85 - (124・184・199)****				755	900
MKIC12 - (124・184・199)****				450	950
MKIC72 - (124・184・199)****				600	950
MKIC82 - (124・184・199)****				755	950

製品寸法図

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ■MKIC81 - (90・120・150・180)*** | ■MKIC41 - (90・120・150・180)*** |
| ■MKIC61 - (90・120・150・180)*** | ■MKIC85 - (90・120・150・180)*** |
| ■MKIC45 - (90・120・150・180)*** | ■MKIC65 - (90・120・150・180)*** |
| ■MKIC82 - (90・120・150・180)*** | ■MKIC42 - (90・120・150・180)*** |
| ■MKIC62 - (90・120・150・180)*** | |



品 番	W				D	H
	90	120	150	180		
MKIC81 - (90・120・150・180)***	900	1200	1500	1800	755	850
MKIC41 - (90・120・150・180)***					900	850
MKIC61 - (90・120・150・180)***					1050	850
MKIC85 - (90・120・150・180)***					755	900
MKIC45 - (90・120・150・180)***					900	900
MKIC65 - (90・120・150・180)***					1050	900
MKIC82 - (90・120・150・180)***					755	950
MKIC42 - (90・120・150・180)***					900	950
MKIC62 - (90・120・150・180)***					1050	950

取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・天板等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。
- ・脚部の養生は、引渡し時まで剥がさないでください。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050-3852-2392 〈受付時間 平日9:00~17:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

